

MIHARA

三原お仕事ハンドブック2022

Mihara Company Handbook

未来をつくるのは
誰かじゃなく、自分たち

MIHARA

三原お仕事ハンドブック2022

Mihara Company Handbook

2023年3月発行

【発行】

Jデスクみはら

(三原市、三原商工会議所、三原臨空商工会、三原公共職業安定所)

【制作】

株式会社ザメディアジョン

【問い合わせ先】

Jデスクみはら事務局 三原市経済部商工振興課

〒723-8601

広島県三原市港町3-5-1 商工振興課(本庁舎3階)

TEL0848-67-6013

本書の記事・写真を無断で複写・複製・転載することを禁じます。
法律で定められた場合を除き、著作権の侵害となります。



未来をつくるのは
誰かじゃなく、自分たち

三原を支える会社と先輩

50 stories

地元・三原で働く先輩たちから 後輩たちへのメッセージ

これから社会人になるまでの数年間。
それは、未来の可能性を広げていくための時間。

それぞれの思い描く未来が
笑顔であふれたものになるように。

地元・三原で働く先輩たちから
後輩たちへのメッセージ。



皆さまのお声をお聞かせください!!

保護者・
学校関係者の方



生徒・学生の方



アンケート回答用フォーム

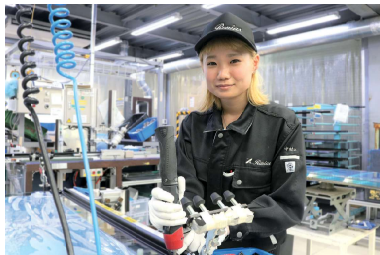
CONTENTS

三原を支える会社と先輩
50 stories

- 01 はじめに この街の未来をつくるのは、自分たち
- 04 三原市紹介 ずっと住んでいたい街、三原
- 06 株式会社赤石建商
- 07 旭鉄工株式会社
- 08 株式会社アトラック「子どもサロン 駅前ドレミ園」
- 09 糸崎倉庫株式会社
- 10 今治造船株式会社 広島工場
- 11 株式会社 エスフーズ
- 12 株式会社 エムトレーディング
- 13 株式会社ガルバ興業 三原工場
- 16 有限会社 共楽堂
- 17 care design
- 18 株式会社ケアハート
- 19 有限会社ケンコウ設備
- 20 株式会社サラダクラブ三原工場
- 21 山陽建設株式会社
- 24 山陽乳業株式会社
- 25 山陽ブロック工業株式会社 本郷工場
- 26 しまなみ信用金庫
- 27 医療法人 仁康会
- 28 新星工業株式会社 三原自動車学校
- 29 株式会社セイム
- 30 セイム梱包株式会社
- 31 医療法人 大慈会 三原病院
- 34 社会福祉法人 泰清会 サンライズみはら



- 35 タイム株式会社
- 38 高砂香料西日本工場株式会社
- 39 中国紙工業株式会社 三原工場
- 40 都吹株式会社
- 41 株式会社 鶴田電設コンサルタント
- 42 テクノス三原株式会社
- 43 東洋製罐株式会社 広島工場
- 44 日産興業株式会社
- 45 株式会社ニホンケミカル
- 46 日本シーレーク株式会社
- 47 野村乳業株式会社
- 48 株式会社八天堂
- 49 株式会社HGCホールディングス
- 52 Palet's
- 53 平畑建設株式会社
- 54 広島ガス三原販売株式会社
- 55 株式会社ヒロヨシ
- 56 BLUET Barber Shop
- 57 株式会社古川製作所
- 58 訪問看護ステーションAioi 株式会社徳寿
- 59 社会福祉法人 松友福祉会
- 60 三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社
- 61 三原テレビ放送株式会社
- 62 保道建設株式会社
- 63 株式会社やまみ
- 64 社会医療法人 里仁会 興生総合病院
- 65 株式会社レニアス



特別座談会

- 14 株式会社 エムトレーディング
- 22 山陽建設株式会社
- 32 医療法人 大慈会 三原病院
- 36 社会福祉法人 泰清会 サンライズみはら
- 50 株式会社八天堂

ずっと住んでいたい街 三原

中国・四国地方のほぼ中心に位置する三原市。
瀬戸内海と里山の自然に恵まれながら、
充実した都市機能も備えているのが特徴です。
交通面では、市内に広島空港、新幹線駅、高速道路、
三原港があり、東京、大阪へ片道2時間以内でアクセスできます。
おだやかな自然のなかで便利な都市生活が叶います。

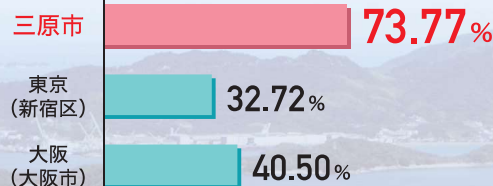
暮らし

通勤時間



総務省統計局「平成30年住宅・土地統計調査」

持ち家比率



総務省統計局「平成30年住宅・土地統計調査」

土地平均価格(住宅地)

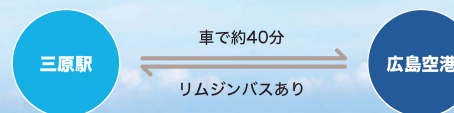


(※1) 令和4年広島県地価調査 (※2) 令和4年都道府県地価調査

交通



広島空港までのアクセス



陸路でのアクセス

瀬戸内しまなみ海道や中国やまなみ街道へのアクセスが良く、
中国・四国地方の大半が3時間圏域

高速道路



新幹線



※数字は三原からの所要時間の目安です

空路でのアクセス



STORY 01

サッシ・ガラス・エクステリア・住宅機器・内装材の取付販売

株式会社赤石建商

AKAISHI KENSHO

三原市古浜2-4-3
☎0848-62-6002
http://www.akaishi-gk.com/



周りに感謝をし 心からの笑顔を 届けられる人に

あかいし なおや
2021年入社 赤石 直弥(30歳)

三原市立第一中学校・広島県立三原東高等学校 出身

大阪にある住宅設備の会社に3年間勤め、業界の雰囲気や商品の基礎知識を身に付け、赤石建商に入社。工務店や一般のお客様に、サッシの販売やガラス交換などを提案しています。「暑い」「寒い」など住まいにまつわる悩みを聞き、知識を総動員して解決できる商品提案ができた時、自分の成長を感じます。希望通りの性能と価格にお客様が心から満足して、「ありがとう」と口にしてくれる瞬間が一番の喜びです。もともと人を笑顔にするのが好きで、学生時代は多くの友人に囲まれ、笑いに満ちた日々を過ごしました。あの頃の楽しい時間が今の自分を支えているし、自分もまた、誰かを笑顔にできる人になりたいと思っています。季節の行事と一緒に楽しんだり社員旅行へ出掛けたりと、仕事以外でもたくさんの時間を共有している社員は大切な仲間。まずは暮らしやすくなる商品提案でお客様を幸せに、そしてそんなお客様を増やすことで会社の人たちも幸せにしたいです。

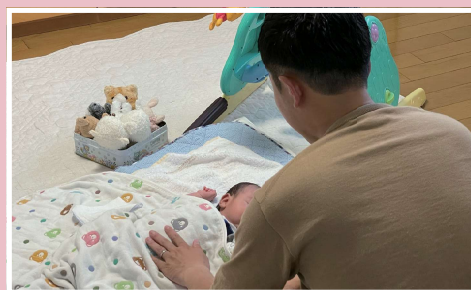
住まいの悩みをスピーディーに解決

問題解決に向け社員一丸になれる環境

キッチン、バスルームなど、地元密着型で快適な住環境を提案。経験豊富な職人たちが在籍しスピーディーに対応している。住まいに関する「だったらいいな」に向き合い、多彩な住宅商材を販売・施工。また、社員同士で相談し合える明るい職場環境を整えている。



休日の過ごし方



妻とともに、父親として成長中 子どもと過ごす時間が喜び

今年生まれたわが子と過ごす時間が最高に幸せです。お父さん1年目なので妻と助け合いながら、子どもと一緒に成長しています(笑)。

STORY 02

建設業(水道施設・土木・管・舗装・機械器具・電気・電気通信工事業)、空撮ドローン事業(ドローンスクール・保守点検)

旭鉄工株式会社

ASAHI TECCO

三原市中之町8-20-18
☎0848-63-7311
http://asahitecco.com//



暮らしに不可欠な 水の供給に関わる 工事で地域に貢献

まるやま こうへい
2022年入社 丸山 航平(23歳)

三原市立第三中学校・学校法人盈進学園 盈進高等学校 出身

小学2年生から高校生まで野球に打ち込み、将来の夢はカープの選手になることでした。10年間の野球経験で培った体力と精神力、挨拶などの礼儀は、社会人になった今でも糧となっています。大学卒業後、「地元の三原で、地域に貢献できる仕事をしたい」と旭鉄工に入社。古くなった水道管を掘り出し、新しい水道管と入れ替える公共工事に携わっています。一から仕事を覚えるのは大変ですが、先輩方に教えていただきながら日々の

業務に取り組んでいます。「どんどん聞いて!」と言ってもらえるので、分からないことがあればすぐに疑問を解決することができます。やりがいを感じるのは、地域の方々から「ありがとう」と温かい言葉をいただいた時。「この仕事を選んで良かった、頑張ろう」と励みになっています。もうすぐ入社1年、いろいろな経験を積んで自分自身のレベルアップに努め、現場を指揮する立場になるのが今後の目標です。

三原にドローンで文化を構築したい!

公共工事から空撮事業まで幅広く展開

創業73年、温故知新の精神で日々精進する建設会社。公共工事をメインに、災害復旧や水道施設の老朽化対策などを行政と一致団結して業務を遂行。空撮事業では、行政と連携しながら未知なる可能性を追い求める。2022年10月に三原市初のドローンスクールを開校。



休日の過ごし方



友人と集まりワイワイ 飲み会でストレス発散

大勢でにぎやかに過ごすことが好きなので、大学時代の友人と集まり、お酒を飲んだり、おいしいものを食べたりして、リフレッシュしています。

STORY 03

人材派遣事業・小規模保育園の運営

株式会社アトラック 「子どもサロン 駅前ドレミ園」

ATTRACK

三原市皆実1-21-15
☎0848-61-5440
🌐<https://www.attrack.co.jp/>



子どもたちに寄り添い 笑顔と笑い声が あふれる保育を！

まつうら かな
2018年入社 松浦 加奈 (27歳)

三原市立久井中学校・広島県立世羅高等学校 出身

中学2年生の時、職場体験で保育所に行きました。子どもたちのキラキラとしたあふれる笑顔に惹かれ、その日から将来の夢は保育士に。体験は2週間ほどでしたが、最初は人見知りしていた子がだんだんと懐いてくれて、とてもうれしかったのを覚えています。現在は、「駅前ドレミ園」で2歳児を担当しています。1番のやりがいは、子どもたちの笑顔を毎日見られること。かわいい笑顔を見ると、どんなに大変でも保育士をしていて良かったと実感

できます。「歩けるようになった」「しゃべれるようになった」など、子どもたちの成長を支え、喜ぶことができるのも保育士の特権！一人ひとりの気持ちに寄り添い、笑顔と笑い声があふれる保育をしていきたいです。新しい遊びを取り入れたり、行事の内容を考えたり……子どもたちが楽しく過ごせるよう日々の勉強は欠かせません。保護者の方としっかりコミュニケーションを取り、一緒に子どもたちの成長を見守っていききたいです。

温かい雰囲気の中で、のびのびと活動 安心・安全な集団保育の提供を目指す

「一人ひとりが夢を持てる環境づくり」を目指し、人材派遣業を営むアトラック。運営する小規模保育園は、充実した保育環境が特徴で、一人ひとりの個性を大切に、家庭的な雰囲気の中で集団保育を実施。仕事の相談が気軽にできる風通しの良い職場環境も魅力だ。



休日の過ごし方



観光名所からテーマパークまで 旅行で気持ちをリフレッシュ！

宮島で食べ歩きをしたり、ユニバやディズニーで遊んだり旅行でリフレッシュ。連休を見つけると、友人とワクワクしながら計画を立てています。

STORY 04

倉庫業

糸崎倉庫株式会社

ITOZAKI SOUKO

三原市糸崎南2-6-10
☎0848-62-2105
🌐<http://www.itozaki-warehouse.co.jp/>



今を懸命に生きて 自分の未来を 切り開いていこう！

くぼ ひるき
2018年入社 久保 洋貴 (38歳)

三原市立宮浦中学校・広島県立本郷工業高等学校 出身

父親がモトクロスをしていたこともあって、幼い頃からバイクや車が大好きでした。トラックドライバーや造船の仕事などを経て、以前に取得したフォークリフトの資格が生かせればと糸崎倉庫に転職。フレコンと呼ばれる1トンのお米が詰まった袋をフォークリフトで倉庫内に積み上げる作業を担当し、管理なども行っています。お客様からお預かりしている大切な商品なので、傷つけるようなことがあってはいけません。重量があるので運

搬にはコツがいりますが、3日ほどかけて倉庫いっぱい袋を積み上げ、隙間なくきちんと並べられた時の達成感格別です。これまで何度かの転職を経験してきましたが、コミュニケーションや事務処理作業の能力など、それぞれの職場で得られたものがあると感じています。経験の1つ1つが自分の未来につながると思うし、将来は誰もが未知数。今できることに一生懸命向き合うことで、夢の実現が可能になると思っています。

西日本エリア屈指の規模で行う倉庫業 品質保持に特化した低温倉庫を所有

国際港に隣接した倉庫で、外国貨物の取り扱いや低温倉庫での米穀保管を行っている。15℃以下の低温保管で品質を保持し、関係業者からの信頼も厚い。また、一般の営業倉庫並びに福山・三原地区でトランクルーム（レンタルボックスや貸し倉庫）を複数展開する。



休日の過ごし方



仲間とバイクでツーリングや 家族とのお出掛けで写真を撮影

バイク仲間とツーリングに出掛けたり、家族と公園へ遊びに行ったりして過ごします。写真も好きなので思い出の一枚をたくさん撮っています。

STORY 05

新造船の建造

今治造船株式会社 広島工場

IMABARI ZOSEN

三原市幸崎能地2-1-1
☎0848-69-1200
🌐https://www.imazo.co.jp/



憧れだった造船会社 巨大船の品質を支えるのは ミリ単位の精密な仕事

はなむら だいすけ
2017年入社 花村 大輔(24歳)

尾道市立向島中学校・私立如水館高等学校 出身

高校在学中にインターンシップで広島工場を訪問。その時に間近で見たコンテナ船の巨大さに驚き、自分も作ってみたいと思い入社を決意しました。入社後は半年間いろいろな部署で研修した後、第一希望の外業チームに配属。現在は、ブロックと呼ばれる大きな部品をクレーンで積み木のように組み立てていく、搭載作業を担当しています。全長300～400mの巨大船を建造していますが、設計はミリ単位で考えられているため、丁寧で正

確な作業が求められます。角度が1度ずれるだけで、船は真っすぐな形になりません。無事にクリアし、図面通りに完成した時は、毎回感慨深いです。入社して5年が経ち、今では後輩を指導する立場になりました。「人一倍動く」をモットーに、後輩としっかりコミュニケーションを取り、積極的に声をかけるようにしています。今後の目標は、正確な船づくりを目指しさらにスキルアップすること、私生活では幸せな家庭を築くことです。

地元出身の若者が活躍中!

建造量国内トップの造船会社

瀬戸内海沿岸を中心に10工場13基の建造設備を保有し、年間100隻以上の大型船舶を建造する今治造船グループ。2021年は建造量ベースで国内トップ、世界でも5位にランクイン。基本的に転勤がないため、「地元で働きたい」「地元に貢献したい」という人も安心だ。



休日の過ごし方



会社の仲間とサッカー 体を動かし気分爽快!

会社のサッカー部に所属し、上司や同僚と楽しい時間を過ごしています。平日は仕事仲間ですが、休日は部署の垣根を越えて仲良くフェアプレー。

STORY 06

飲食店経営・運営

株式会社 エスフーズ

SFOODS

三原市系崎3-1-17
☎0848-64-4661
🌐https://sfoods-inc.jp



周りのスタッフから 頼ってもらうことが やりがい&喜び

さとう たかと
2022年入社 佐藤 崇人(23歳)

三原市立第五中学校・私立如水館高等学校 出身

2022年4月にオープンした「焼肉きんぐ 三原店」で、キッチンの管理業務に携わっています。調理や盛り付けをはじめ、人材育成、食材管理、衛生面の管理など幅広い業務を担当。スタッフは高校生から主婦までいろいろな年代の方がいて働き方もさまざまなので、丁寧なフォローを心掛けています。やりがいを感じるのは、自分が仕事を教えた人が独り立ちした時や、「佐藤さんがいてくれてよかった!」と頼ってもらった時。コミュニケーション

をしっかり取り、仕事の幅を増やしていきたいです。エスフーズとの付き合いは長く、学生時代に「丸源ラーメン 三原店」でアルバイトをしていました。大学卒業と同時に一度は離れましたが、「新店がオープンするので社員にならないか」と声をかけてもらい戻ることに決めました。次のステップに進むためにも、ここで精一杯頑張りたい。「焼肉きんぐ 三原店」を中四国エリアでナンバー1の店にしたいです!

食を通じて地域の活性化に貢献

常に前向きに成長し続ける企業

フランチャイズ事業で「焼肉きんぐ 三原店」「丸源ラーメン 三原店」「丸源ラーメン 東広島西条店」を運営。元気と笑顔いっぱいの接客で、お一人様から家族連れまで、老若男女問わず楽しめる飲食店を目指す。アットホームで風通しの良い社風も魅力。



休日の過ごし方



写真撮影、サウナ、ライブなど 趣味をアクティブに楽しむ

趣味は、一眼レフで写真を撮ること。瀬戸田の未来心の丘や、倉敷の美観地区などに行きました。サウナや音楽ライブに行くのも好きです。



高校時代の学びを 日々の仕事に生かし 次のステップへ

ありむら あゆみ
2018年入社 **有村 歩美** (23歳)

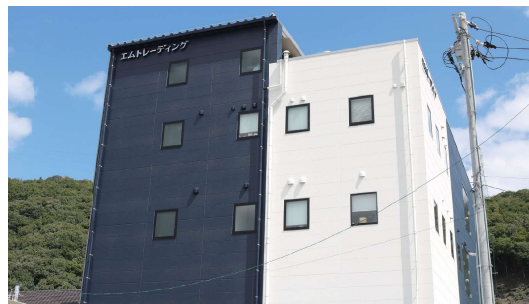
三原市立第三中学校・広島県立尾道商業高等学校 出身

尾道商業高校の商業科で簿記などを学び、エムトレーディングに事務職として入社しました。高校時代に学んだことや身に付けたことが仕事で生かせる場面も多く、左手で電卓を打ちながら右手で書き物をしていたりと驚かれることがあります。原材料の入荷スケジュールや数量を管理して製造へとつなぐのが主な業務で、情報を正しく伝える責任を感じながら、日々の仕事に向き合っています。少し前に、物流を追跡して業務改善を

図る「トレーサビリティシステム」という新システムが導入されました。現在は、このシステムを使いこなして業務改善が実現できるよう日々奮闘中です。外国人のスタッフも多く、プライベートで一緒に遊びに出掛けることもあります。さまざまな人とのコミュニケーションを通して、多様な文化を知ることができるのもこの会社の魅力です。今後は営業や加工の仕事にも携わって、会社全体のことを見られるようになっていきたいです。

食肉加工を通じて「食べる喜び」を届ける 地球環境・SDGsに配慮した取り組みも

「食を通じて社会に貢献する」という理念のもと2002年に創業。食肉の卸販売からスタートし、やわらか食肉やボイル済食肉加工品の製造・販売を行っている。近年では製造時に出る油脂や残渣をバイオ燃料に変えるといった廃棄物対策やフードロスにも力を入れる。



休日の過ごし方



近所のカフェで友人とランチ おうち時間も楽しく

友人とランチに出掛けたり、自宅で過ごす日には庭の手入れや料理の腕を磨いたりしています。お出掛けも、おうち時間も、休日を満喫しています。



ダイナミックな ものづくりの現場で 経験を積み、技術を磨く

はまだ せいや
2022年入社 **濱田 聖也** (23歳)

三原市立幸崎中学校・学校法人盈進学園 盈進高等学校 出身

父親が製造業の仕事をしていた影響もあり、就職活動はなじみのあった業界でリサーチ。「ガルバ興業 三原工場」を訪れ、ダイナミックなものづくりの現場を見て心を動かされました。溶融亜鉛めっき加工がさまざまな分野で使われている技術だと知り、ものづくりを通して社会に貢献できるこの仕事に魅力を感じました。2022年4月に入社したばかりなので、今はいろいろな部署での仕事を経験しながら、業務の流れを学んでいます。どの

部署でも、親身になってアドバイスをしてくださる先輩方にたくさん助けてもらっています。この1年間を、これから自分を高めていくための土台にできるよう、先輩方のご指導を真摯に受け止めます。学生時代はずっと野球に励み、努力を続けることや諦めない心の大切さを学んできました。その経験が、社会に出てからも支えになっています。これから入社してくる後輩たちに頼ってもらえる先輩を目指します！

鉄を錆から守る溶融亜鉛めっき加工 未来のまちづくりを技術で支える

溶融亜鉛めっき加工の技術で、船舶や高層ビル、ガードレールなど、さまざまな場所で使われている鉄を錆から守っている。日本最大級の大型設備とストックヤードを保有し、あらゆる製品に対応。30年、50年先も安心な生活を送れるまちづくりに貢献する。



休日の過ごし方



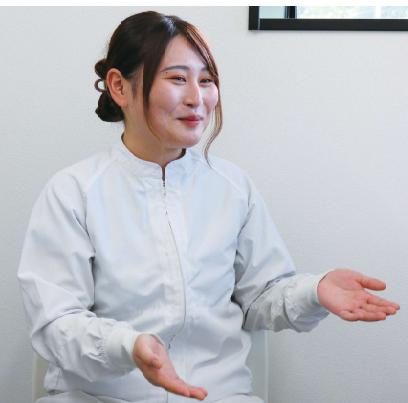
仕事も趣味も チャレンジ精神を持って真剣に！

今でも野球を続けていて、仲間と一緒に楽しみながら汗を流しています。体を動かすことが好きなので、最近ではゴルフにも挑戦しています。

株式会社 エムトレーディング

自分らしくキャリアを重ねていける
未来に向けて、安心して働ける場所に皆が働きやすい職場環境を
自分たちの手でつくっていく

「誠実」「思いやり」「情熱」「挑戦」「約束」という5つの行動指針のもと、食肉加工の製造や開発を通して「食べる喜び」を届けるエムトレーディング。営業事務と生産現場に携わる社員の働き方や今後の目標について聞いた。



地元ならではの
人のつながり
部署や国籍を超えた
チームワークも

——最初に、お二人が入社したきっかけや普段の仕事内容について教えてください。

渡辺:私はずっと、地元で働きたいと考えていました。求人票を見て自宅から近いエムトレーディングへ見学に行くことにし、実際に訪れてみる

と皆さん大きな声であいさつしてくれて。明るく元気でなじみやすそうな会社だなと思って入社を志望しました。

有村:私も地元で就職を考えていて、エムトレーディングへ見学に行った際に社員の方がとても親切だったのが印象的でした。ここでなら自然体で働けそうだと感じたことが、入社を決め手になりました。

渡辺:有村さんは、私と同じ高校出身ですよ。入社後しばらくしてから、あれ、見たことあるなと思って。

有村:そうそう、私も人づてに同じ高校だと聞いてなんだかうれしくなりました。

渡辺:そんなふうにお互いのことを知っていたり、つながりのある人たちがいる中で気負わずに働けたりすることが、地元就職のメリットのひとつかなと思います。あとは通勤のしやすさなど、何かとストレスフリーですね。

有村:仕事をする上でいろいろなお客様とお話する機会がありますが、地元の話題で盛り上がる人が多いですね。共通点があると仲良くなりやすいです。

渡辺:私がいる部署にも三原市出身の人はいますが、生産現場は外国人スタッフの方も多いです。2021年12月から稼働している新工場での人員配置を担当する中で、時々言葉の壁を感じることはありますね。なるべくゆっくり話して分かりやすい指示ができるように心掛けています。異文化コミュニケーションというか、海外のいろいろな話を聞けるのは楽しいです。有村さんは、仕事をする中で大変だと感じることはありますか？

有村:私はお客様からのご注文を受けて生産につなぐパイプ役のような立ち位置ですが、規格や個数などを正確に把握して伝えるために、常に気は張っています。急遽の追加注文が入る場合もあり、オーダーが重複していないか、生産部門への伝達漏れがないかなど、注意を払っています。

渡辺:ミスを防ぐためには部署間のチームワークも大切ですよ。互いに気を付けながら、普段のコミュニケーションを深めていきたいですね。

有村:そうですね。私はいずれ生産や営業の現場でも働いてみたいと思っているので、いろいろな部署の業務に携わって全体の流れを把握できるようになりたいです。

自分だけでなく
周りも大切に
チームとして
互いを高め合う

——キャリア形成に関して会社で取り組んでいることがあれば教えてください。また、お二人の今後の目標も聞かせていただけますか。

渡辺:エムトレーディングでは現在、社員のキャリア意識向上に向けた行動計画を立てています。女性管理職の登用や、キャリア意識醸成のための研修会、ワークライフバランスへの理

解促進など、具体的な取り組みが動き始めているところです。有村さんは自分のこれからのキャリアについてどんなふうに考えていますか？

有村:プライベートも大切にしながら、好きな仕事をしっかりと続けて、いつかは管理職として会社に貢献できればと思っています。お子さんが3人いらっしゃる女性で、仕事ぶりが評価されてパートタイマーから社員になり、今は管理職に就かれている先輩が自分の憧れの存在です。後輩や他のスタッフへの気遣い、仕事への向き合い方、トラブルが起きた時の対応など、一緒に働きながらたくさんのことを教えていただいています。少しでも近づけるように頑張りたいです。

渡辺:そういう先輩が近くにいると自分の課題や目標が明確になりますよね。私は今、生産現場の人員配置に関わる仕事が多いので、目の前の仕事だけでなく、全体を俯瞰する目を養いながら、少しずつステップアップしていきたいと考えています。働き方で言うと、私たち社員だけでなく、パートさんやアルバイトスタッフも含めて、ワークライフバランスを大切にしながらみんなが安心して働ける環境をつくっていききたいですね。

有村:家庭の状況などに合わせて自分の働き方を主体的に選べるような仕組みがあると、安心して仕事ができますよね。それぞれが自分らしく働ける会社にしていきたいですね。

渡辺:勤務時間を柔軟に変えられるのはとても助かっています。例えば夕方に用事がある時



は、朝早めの出勤にして15時に退社するなど。部署内で調整ができればOKなので、平日早く帰りたい時などに活用してもらっています。

有村:それは助かりますね。うちはもともと女性社員の割合が多く、男性社員も理解ある方が大半なのでありがたいです。奥さんの産前産後に合わせて休暇を取る人も多いですね。

渡辺:皆が働きやすい環境をつくるにはどうしたらいいかということを考えていきたいですね。自分のことばかりではなく、周りの人も大切にできる、そんなチームでありたいと思います。

有村:誰か1人に負担が偏るような仕事の仕方ではなく、同じ目標を共有して、皆で高め合いながら仕事に取り組みたら最高ですね。これからもそれぞれの理想をこの会社で追い求めていきましょう。





“好き”を仕事に！ 経験を積み重ね ステップアップ

ふなだ まさや
2015年入社 船田 雅哉(26歳)

福山市立加茂中学校・広島県立戸手高等学校 出身

中学生の頃からお菓子作りが好きで、ロールケーキやガトーショコラを作って、友人に振舞っていました。高校は総合学科に進学し、食物調理技術検定の資格を取得。「お菓子に関わる仕事に就きたい」と就職活動をする中で、共楽堂と出会いました。入社後は製造部門に所属し、さまざまなお菓子の仕込みや仕上げを経験。今は、原材料の仕入れも任されるようになりました。仕入れは、製造部門の重要な業務の1つで、責任も大きいですが、

自分が会社から信頼してもらえていると思うと頑張ることができます。入社して3～4年経った頃、自ら希望し1週間ほど店舗での販売業務を経験。その時に、お客様から直接「このお菓子がおいしいんよ」と言ってもらったことは、とてもうれしく、心に残っています。最近は、できること・任されることが増え、自信を持って仕事に取り組めるようになってきました。さらにステップアップし、仕事の幅を広げていくのが目標です。

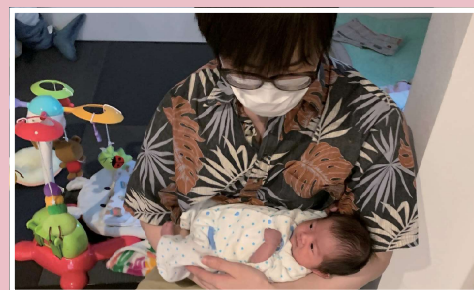
お菓子で喜び&幸せを届けたい

地元で愛され続ける老舗菓子店

昭和8年に三原市で創業。2000年代に入ると、都市圏の商業施設に店舗展開を開始し、現在は15の直営店を構える。「食べ物を通して小さな幸せを感じてもらいたい」と、「ひとつぶのマスカット」など、素材の良さがダイレクトに伝わるお菓子作りを心掛けている。

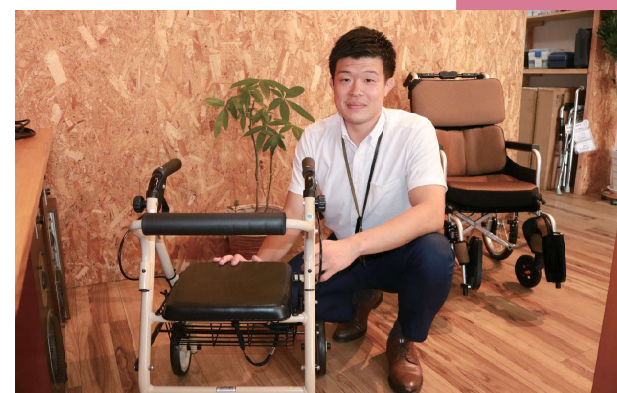


休日の過ごし方



甥&姪に会いに尾道へ 遊ぶ時間が心の癒やし

尾道に住む甥や姪と会って遊ぶことが楽しく、癒やしに。0歳・3歳・4歳とまだ小さいので、もう少し大きくなったら一緒にお出掛けしたいです。



理学療法士の経験を 生かし、健やかで 快適な生活を支える

かわね まさたか
2022年入社 川根 大空(31歳)

三原市立第五中学校・私立近畿大学附属広島高等学校福山校 出身

医療系の専門学校を卒業し、福山市の病院で理学療法士として勤務。回復期病棟で患者様のリハビリや退院に向けての支援を行っていました。体を無理なく動かせるようにするためのケアにやりがいを感じる一方、退院後に転倒・再入院になってしまうケースもありました。もっと患者様に長く寄り添える方法はないかと考えていたときcare design(ケアデザイン)に出会い、より日常生活に近いところで日々のサポートができる仕事に魅力を感じ

て転職。相談員として、お客様の生活スタイルに合う福祉用具を提案しています。理学療法士の観点から身体の状態に合った用具をおすすめしていますが、ご本人様の希望を叶えることが何より大切。使いやすさを追求しながら、健やかで快適な生活のお役に立てるよう努めています。2023年にはcare designみはらが完成予定です。大好きな地元で勤務できることになりそうです。これからも地域の皆さんを支えられるように頑張ります。

愛を持って地域に貢献

福祉用具で健やかな暮らしを支える

介護保険サービスを利用した福祉用具のレンタル、販売、住宅改修などを行う。「諦めない心」「すべての方に愛をもって」「新しい介護の形をデザイン」「地域貢献」の4つの理念を掲げ、スタッフ一丸となり業務に邁進。相談に応じて装具の作成やICT導入支援なども対応中。



休日の過ごし方



子どもと遊ぶ時間が癒やし 釣りやキャンプで気分転換も

1歳になる娘と一緒に遊ぶのが癒やしになっています。たまに釣りやキャンプ、ゴルフで気分転換するのも大切な時間です。

楽しく体を動かして
生き生きと
豊かな人生に2019年入社 ^{にしかわ}西川 さつき (30歳)

竹原市立竹原中学校・広島県立広島高等学校 出身

自分が高校2年生の時に兄が資格を取ったことがきっかけで、作業療法士という職業を知りました。リハビリ＝つらい訓練をしなければならないというイメージでしたが、作業療法は患者さんの趣味や好きなことをベースに、楽しみながら体を動かせるようにサポートしていくということを知り、それなら自分に向いているかもしれないと目指すようになりました。専門学校卒業後は病院に就職しましたが、QOL(生活の質の向上)や生きがい

をより重視する福祉施設で働きたいと思い、ケアハートに転職。日常の生活動作を中心にリハビリを行い、利用者さんの送迎から筋力トレーニングまで幅広いサポートに携わっています。今年は初めて園芸に取り組み、利用者さんと知恵を出し合いながら野菜を栽培しました。体を思うように動かせなくなって自信や居場所を失っていた人が生き生きと活動されている姿を見られるのが、作業療法士として大きな喜びを感じる瞬間です。

思いやりの心で、より良い地域社会へ

住み慣れた場所で寄り添う福祉を目指す

三原市内で住宅型有料老人ホーム2棟、通所介護事業所、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所を運営。「地域の人々が住み慣れた場所で継続した支援を受けられること」をコンセプトに事業を展開する。笑顔が絶えない職場づくりを実践。



休日の過ごし方

仕事と育児が両立できる環境！
ワークライフバランスをかなえる

有給休暇が取りやすい環境なので、乗り物好きの息子と、電車に乗って水族館に行ったり、近所の公園で遊んだりと休日を満喫しています。

一人ひとりの可能性を
信じ暮らしとともに
再構築する！2021年入社 ^{はしもと こうた}橋本 康太 (30歳)

三原市立第三中学校・広島県立三原高等学校 出身

大学卒業後、中学生の頃からの目標だった理学療法士として、福山市の医療・社会福祉法人に就職。デイサービスや病院で経験を積んだ後、「新しいことにチャレンジしたい」と、大学院へ通いながら三原市の福祉法人で働く生活を2年ほど送りました。やりたいことを模索する中で、生まれ育った三原で起業することを決意。29歳の時に、築120年の古民家(旧坂田内科医院)をリノベーションした複合型ふくし拠点「暮らし」を創業しました。「暮らし」は1階をデイサービス「くらすば」、2階を貸しスペースとして運営し、私は経営と現場での介護業務の両方に携わっています。私の考える“ふくし”は、子どもからお年寄りまで、障がいの有無に関わらず、より良い日常を営めるようにすること。目の前にいる人と対話し、一緒にやってみるという日々の積み重ねを大切にしています。日常に豊かなコミュニケーションが起こるきっかけを作り続けるため、幅広く事業展開していくのが今後の目標です。

り」は1階をデイサービス「くらすば」、2階を貸しスペースとして運営し、私は経営と現場での介護業務の両方に携わっています。私の考える“ふくし”は、子どもからお年寄りまで、障がいの有無に関わらず、より良い日常を営めるようにすること。目の前にいる人と対話し、一緒にやってみるという日々の積み重ねを大切にしています。日常に豊かなコミュニケーションが起こるきっかけを作り続けるため、幅広く事業展開していくのが今後の目標です。

個々の思い・能力を尊重したケアで

利用者の暮らしをより良いものに

2022年5月に開所した「くらすば」は、体が動きにくくなってきた人、暮らしが不安な人をケアする通所介護施設。古民家を改装した居心地の良い空間で、質の高いスタッフが利用者の“できる”をサポート。個々の思い・能力を尊重し一人ひとりに合った活動を行う。



休日の過ごし方

家族と過ごす時間を大切に
県内外へお出掛け

妻、娘と一緒に出掛けることが多いです。毎週金曜日は「くらすば」の入り口で野菜などを売っているのですが、そこにもよく2人が遊びに来てくれます。

STORY 13

パッケージサラダの製造

株式会社サラダクラブ三原工場

SALAD CLUB

三原市沼田西町
惣定10247-120
☎0848-60-6115
🌐https://www.saladclub.jp/



今できる努力を大切に 「おいしいね」と 喜ばれる製品を

2018年入社 ^{かみだ あみ}紙田 亜美(22歳)

広島大学附属三原中学校・広島県立三原高等学校 出身

ものづくりが好きでパティシエやインテリアコーディネーターを夢見た時期もありましたが、好きなことは趣味にしようと決め、「サラダクラブ三原工場」に就職。以前から製品を知っていたこと、見学に訪れた時に工場がきれいで会社の雰囲気良かったことが入社を決め手になりました。充てん作業が主な仕事ですが、人の配置などのライン管理もしています。トラブルなく1日を終えられた時はほっとして、「今日もちゃんとやれたぞ」と達

成感があります。今後はサラダクラブの商品を使った社外イベントなども企画してみたいです。今、学生の皆さんは、コロナ禍で我慢や制約を強いられているだろうと思います。自分の進路が思うようにいなくても、社会に出るために必要なことを少しずつ身に付けてください。笑顔やあいさつ、言葉遣いなど、小さなことですが、いつかきっと自分の身を助けてくれます。頑張ってください、応援しています！

直営工場の中でも最新の生産拠点

循環型農業にも関わるSDGsを实践

野菜の鮮度にこだわった、洗わずに食べられるパッケージサラダを製造。2014年に操業開始した三原工場は、直営工場のなかでも最新の生産拠点。SDGsに配慮し、野菜未利用部位を発酵させて堆肥の原料にする循環型農業の一助を担い、生産者との相利共生を実現。



休日の過ごし方



感染予防のため自宅で過ごす 大好きなお菓子作りで気分転換

仕事柄、感染対策には気を付けているので、休日は自宅で過ごしています。お菓子作りが好きで、レシピを調べ新作を家族に振る舞っています。

STORY 14

総合建設業

山陽建設株式会社

SANYO CONSTRUCTION

三原市宮沖1-13-7
☎0848-62-2111
🌐https://www.it-sanyo.co.jp/



判断力と対応力のある “期待を越えられる” 現場監督を目指して

2019年入社 ^{は で し げ こ う す け}羽出重 公祐(25歳)

三原市立第五中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

造園の仕事をしている父の影響で、住宅のリフォームや快適な住環境を整える仕事に興味を持ちました。総合技術高等学校の環境設備科で住環境の基礎知識を身に付け、広島工業大学専門学校でさらに学びを進め二級建築士の資格を取得。入社した当初は先輩の補助業務をしていましたが、初めて一から建築に携わった戸建て住宅が出来上がった時の感動は今でも忘れられません。家づくりへの思いが強いお客様から「希望通りの家

になりました」と嬉し涙を浮かべながらお礼を言ってもらえ、胸がいっぱいになりました。建築の現場は、時として材料がそろわなかったり天候に左右されたり、思うように作業が進まない日もあります。日々の仕事を通して判断力や柔軟な対応力を養い、予定通りお客様に引き渡すのが現場監督の務めだと思っています。先輩方の豊富な経験と技術、父が見せてくれたお客様第一主義の姿を受け継ぎ、“期待を越える仕事”をお届けしたいです。

県東部トップクラスの総合建設会社

社員を大事にし、福利厚生も充実

土木工事、建築工事、住宅工事の多彩なフィールドで発展を遂げてきた総合建設会社。専門工事業者と協力し、安全や品質などを管理しながら完成を目指す施工管理を担う。建設中の新社屋では、ゼロエネルギービル規格であるNearly ZEBにも取り組んでいる。



休日の過ごし方



車に道具を積んで大好きな魚釣りへ 魚さばきにも挑戦中！

魚釣りが大好きで、いつでも釣りができるように愛車のトランクに道具を積んでいます(笑)。魚のさばきも少しずつトライしています！

山陽建設株式会社

建設業界で、誰もが活躍できる道を
後輩が夢を持って働ける場所にしていきたい

建築部工務課
たむら こころ
田村 想 (25歳)
(2021年入社)

住宅部営業課
さかた ゆうか
坂田 祐花 (23歳)
(2020年入社)

プライベートも大切にしながら
大好きな仕事に打ち込む

事務職員、技術職員ともに新スタッフの積極的な採用をすすめている「山陽建設」。実際にここで働く社員たちは会社の環境や働き方についてどのように感じているのか本音を聞いた。



社員たちが安心して
長く働き続けられる
やりがいにあふれる
環境をつくる

——まず、お二人の普段の業務内容や、仕事をする上で大切にされていることなどを聞かせてください。

坂田:住宅部の営業課でインテリアコーディネートをしています。お客様にインテリアに関す

るプランをご提案する仕事なのですが、専門学校時代に建築やデザインの勉強をしていたこともあり、任せていただけるようになりました。新築住宅の内外装の仕様などを、お施主様と打ち合わせて決めていくのが主な仕事です。建売住宅の場合は、建築の初期段階からコーディネートに関わっています。

田村:私が担当しているのは、現場の施工管理です。工事が計画通りに進んでいるかを確認し、工程や安全管理などに気を配っています。現場では、職人さんをはじめ多くの関係者がいらっしやるので、ふだんのコミュニケーションを通した人と人とのつながりを何よりも大切にしています。

坂田:お施主様との打ち合わせは、ほとんどの場合営業社員が行うのですが、コーディネーターという専門の立場で関わることで、より安心していただけます。特にご夫婦の場合、奥様が家づくりに強いこだわりを持たれていることが多いので、同じ女性の目線でお話をさせてもらうことで率直な思いを聞き出せるように心掛けています。

田村:コーディネーターとして、お客様からどんな要望を伝えられますか？

坂田:使い勝手やデザインなど、細部までこだわる方もよくいらっしやいます。気兼ねなく、率直な思いを聞かせていただけると嬉しいです。建築現場ではどうですか？

田村:例えばマンションのリフォームなどを行う際、騒音が出たり土埃が舞ったりするので、事前に住民の方たちにお知らせをしているんです。そういう時に女性の現場監督ということで、住民の方たちが気軽に声をかけてくださる気がします。「いつできあがるんですか？ 完成が楽しみです」なんて、話しかけてもらうこともあるんですよ。

坂田:そういうふうに声をかけてもらえるとうれしいですね。

田村:最近感じるのは、現場の職人さんや専門業者さん、県や市の担当者さんにも女性が増えたなということ。同性だといろいろと話しやすいですし、男性の職人さんも気さくにコミュニケーションを取ってくれるので、現場が和みやすいです。

坂田:建築現場って、これまでは“男の世界”というイメージが強かったですが、女性が活躍できるフィールドもどんどん広がってきていますね。

選択肢を持ちながら
自分らしい
キャリアを選べる
組織づくりを

——これからの目標や、皆が働きやすい組織にするにはどうしたらいいか、それぞれの考えを聞かせてください。

坂田:近年では女性管理職の比率を上げよう

という企業も増えていますが、田村さんはいずれ管理職を目指したいと考えていますか？

田村:今のところ目の前の仕事で精一杯なので、まだちょっと考えられないです(笑)。でも、会社が女性の躍進に積極的になるのはありがたいですね。私としては、役職よりも、いつかは現場代理人を務めてみたいと思っています。一から自分が手掛けたものが形になって残っていくことに魅力を感じています。

坂田:私も昇進についてはまだ想像が付きませんが、同じ住宅部内で産休のあと育休に入られている先輩がいます。いつ復帰されるかの目途も立てられているみたいだし、出産を経てもまた慣れた職場に戻って来られるのはいいなと思います。

田村:産休育休の制度を実際に利用して、復帰する先輩が増えていくのは心強いですよね。自分が結婚して出産や育児に向き合うことになった時に制度を活用することで、あとに続く後輩たちもより休みを取りやすくなるんじゃないかなと考えています。

坂田:お互い様ですから、助け合っていきたいですね。子どもの学校行事の時に周りに気を遣うことなく休めることなども重要になってくると思うし。それから、職種転換制度を導入している企業もありますが、田村さんは職種転換を考えたことはありますか？

田村:今のところないですね。もともと大学時代は建築学科で学んで、ものづくりに携わりたいと思っていたので、今の仕事内容には満足しています。担当している消防署の建築現場があるのですが、このデザインや塗装の案を学生から公募するプロジェクトが進んでいて、そのコラボ校が私の出身校なんです。後輩たちがイメージを広げるために現場見学に来た時に、実際に働いている私たちを見て、この世界へ



の憧れを持ってくれたらうれしいなと思います。

坂田:実際に職種を変えるかは分からないけど、働き方の選択肢が広がるのはいいことですね。可能性があることで心理的な余裕も生まれますし。定期面談などでも、働き方について困りごとがないか尋ねてもらえるのはありがたいなと思っています。一時期すごく忙しくて進行管理がうまくできない時があったのでアドバイザーに助けられました。

田村:仕事の忙しさに波はありますよね。現場を担当しているスタッフが実際に産休や育休を取ろうと思うと、工事の進捗状況との兼ね合いが必要になってきます。柔軟性のある人員配置などもこれからの課題かなと思います。

坂田:育休については各家庭で事情が異なると思いますが、男性も女性も積極的に取れるようにもっと実績が増えていくといいですね。

田村:来春、新社屋が完成して、更衣室が拡充されたり、社員がリラックスできる多目的ルームが設けられたりするので楽しみです！

坂田:社屋の雰囲気も柔らかくなっておしゃれになるみたいです。楽しみですね！





安全・安心な製品を 責任持って届ける わが子の言葉に励み

2012年入社 やすおか さとし 保岡 里志(28歳)

世羅町立世羅中学校・広島県立西条農業高等学校 出身

小さい頃から、農業を営む両親の手伝いをしていたため、当たり前のように自然や食について考える環境で過ごしてきました。自分自身もこの分野について学んでみたいと思い、農業高校に進学。農業に関わる技術や知識を身に付けながら、寮生活では規律を守ることの大切さを学びました。在学中に恩師がいつも口にしていた「人のために動くことは心の貯金をつくること」という言葉は今でも胸に残っています。その先生のすすめで職場

見学に行ったのが山陽乳業。農業に携わりながら、乳製品をはじめとする食品で人々の健康的な生活に貢献できる仕事に魅力を感じ、入社を決めました。現在は製造ラインに携わり、安全・安心な商品をお客様に届けられるよう業務に励んでいます。3歳と5歳の育ち盛りの娘たちは、山陽乳業の製品が大好き。「パパが作ったの？すごいね、おいしいね」という娘たちの言葉が、何よりの励みになっています。

食と健康を支える地域の身近な存在

安全・安心な製品を消費者の元へ

学校給食牛乳をはじめ、乳製品や果汁ドリンクといった製品を広く届けている。販売エリアは広島と岡山を中心に、中国、四国、近畿や中部にも展開。「酪農生産者と消費者をつなぐ架け橋となること」を企業理念に、地域の食と健康を支える企業として奮闘する。



休日の過ごし方



自然とのふれあいを大切に子育て 農園ドライブや庭遊びで過ごす

娘たちと庭で遊んだり芝刈りをしたりと、自然とのふれあいを大切にしています。世羅の農園に季節の花を見に行くのもお気に入りです。



どんな経験もいつか 必ず武器になる 未来の自分を信じて

2021年入社 うね のりゆき 宇根 憲之(33歳)

三原市立第五中学校・学校法人尾道学園 尾道高等学校 出身

山陽ブロック工業に入社する以前は、食品メーカーで10年以上勤務。夜勤がある製造ラインにいたこともあり、規則的で、土・日曜にしっかりと休める現在の会社に転職しました。今の仕事内容は、生コンクリートを型に流し込んだり、清掃を行ったりと体力勝負。前職で培われた体力と、ライン製造で求められてきたチームで一つの仕事を完遂する力が生かされていると感じます。趣味の釣りに出掛けた時は、河岸で自社製品が使われてい

るのを目にすることも。自分たちの手掛けたものが人々の暮らしに役立っていると思うと、誇らしい気持ちになります。高校時代に工業科で学んだ溶接の技術が思いがけず前職で生かされたことがあり、どんな経験もいつかは自分の糧にできると実感しています。学生の皆さんには、将来につながっていくような経験を、今からたくさん積んでほしいです。僕も、今の経験が未来の自分を支えてくれると信じ、日々努力していきます。

コンクリート2次製品で環境を守る

中核会社や関連会社との連携も構築

50年以上の実績で積み上げた高い技術力、自社製品のみならず技術提案先の製品も多様に販売できる提案力が強みで、河川や道路に使われるコンクリート2次製品の製造販売、卸売を行っている。グループの中核会社となる山陽建設と連携し安定した経営基盤が整う。



休日の過ごし方



先輩に誘われて海釣りを満喫 趣味を通じて人間関係も良好！

学生の頃は池でバス釣りをしていましたが、会社の先輩に誘われ今は海釣りに夢中。職場でもプライベートでも良好な人間関係を築けています。



お客様から信用され 地域に貢献できる “信金マン”に！

2015年入庫 ^{かわね たくま} 川根 拓真(30歳)

三原市立本郷中学校・広島県立三原高等学校 出身

中学・高校の頃は野球部に所属し、毎日練習に明け暮れていました。野球を通じて、チームメートとコミュニケーションを取ることの大切さを学び、自分自身の成長を実感。将来は人と関わる仕事に就きたい、また地元貢献したいという思いから、地域に密着したしまなみ信用金庫に就職。渉外係として外回りの営業を7年経験した後、2022年4月から本店営業部の融資係として、地域の企業や個人のお客様の融資相談に対応していま

す。融資係は難しい判断をしなければいけないことが多く、経験値も求められますが、周りに助けていただきながら業務に励んでいます。目指すのは、お客様から信用され、地域社会の発展・繁栄に貢献できる“信金マン”。地道に努力を積み重ね、人としても成長していきたいです。「先入観は可能を不可能にする」、大好きな大谷翔平選手が大切にしている言葉です。どんなことも無理だと決めつけず、積極的にチャレンジしていきます。

長年の実績と信用を大切にしながら

地域に密着した金融サービスを提供

1944年の創業以来、「地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献する」の理念のもと、広島県東部を中心に展開する金融機関。金融サービスを提供するだけでなく、地域創生、豊かな街づくり、地球環境の保全をテーマにSDGsにも積極的に取り組む。



休日の過ごし方



目標は「スコア100切り」 自然の中でゴルフを満喫

体を動かすことが好きで、最近はゴルフを楽しんでいます。友人や会社の仲間と、自然を感じながらプレーすることが最高のリフレッシュに。



患者さんの生活を 元に戻せるよう 精一杯サポート！

本郷中央病院 看護師 ^{こうざん あや か} 甲山 亜也加(26歳)

三原市立第二中学校・広島県立三原高等学校 出身
2020年入職

私が中学生の頃に父親が病で倒れたことがあり、何もできなかった悔しさから、医療知識を身に付けた看護師になりたいと思うようになりました。広島市立看護専門学校を経て、広島市内にある病院の血液内科に入職。大病を抱える患者さんが多い環境で、長い時間をかけて向き合い、不安や悩みにしっかりと耳を傾ける大切さを学びました。いずれは地元の医療現場にと思っていたことから、地域密着型の本郷中央病院に転職。地域

包括ケア病棟で、看護師として勤務しています。入院患者さんが退院して自宅へ戻られた際に、無理なく生活が行えるようアシストするのが私たちの役目です。笑顔で退院されていく患者さんを見ると、うれしい気持ちでいっぱいになります。また、プリセプター（新人看護師に臨床実践を指導する先輩看護師）として後輩の教育もしていますが、私自身もまだまだ勉強すべきことがたくさんあるので、一緒に成長していければと思っています。

医療・介護・福祉の分野で地域に貢献

福利厚生充実で働きやすさに自信

医療・介護・福祉の三本柱でサービスを提供。本郷中央病院をはじめ、小泉病院、介護老人保健施設ドリームせせらぎなど、三原市西部地域で約20の施設を展開。看護師資格取得のための奨学金制度や、独身寮・託児所の完備など、働きやすい環境が整っている。



休日の過ごし方



地元の友達と過ごす大切な時間 カフェ巡りやお出掛けが好き！

友達とカフェ巡りや、お出掛けしたりするのが趣味。写真は湯来町へ行った時の一枚で心身共にリフレッシュしました。



自衛隊での 経験を生かして 教習員を目指す

かわむら よしまさ
2018年入社 **川村 佳正** (35歳)

三原市立本郷中学校・私立如水館高等学校 出身

自動車教習員になる前は、陸上自衛隊での任官を経て、一般企業に転職。まったく異なる職を経験してきました。自衛隊員としては任期が限られていましたが、規律を徹底して学び、心身共に鍛えられたと感じています。退官後の就職のために第二種電気工事士の資格を取得し、電気関係の会社に就職することができました。約5年間の勤務を経て、三原で働きたいという気持ちが強くなり自動車教習員に。大きな声でハキハキしゃべる、

あいさつを欠かさないなど、これまでの経験から得た学びを大切にして教習にあたっています。教習生の運転技術向上に少しでも役立てることが喜びですが、それと同じくらいに「よろしくお願いします」「ありがとうございました」と礼儀を大切にしてくれている姿を見ると、励みになるし、うれしく思います。目指すは、厳しくも優しい、頼られる教習員。失敗も上手にフォローできる、褒めて伸ばしてあげられるような存在になりたいです。

新型教習車や最新の学科教材を活用 学びやすさが自慢の自動車学校

普通車、二輪車の免許取得や安全講習、ペーパードライバー講習などを行っており、三原を中心に、東広島や福山からも教習生が通う。オンライン予約と対面予約の両方が可能で、最新の学科教材を活用。ベテランと若手の教習員が在籍し学びやすさに定評がある。



休日の過ごし方



潮の香りと波の音で気分転換 心が落ち着く、海での休息时间

海が大好きでよく魚釣りに。釣れた時はもちろんうれしいですが釣れなくても潮の香りや波の音に癒やされます。心が落ち着く海は最高です！



完成したものが この先も残ることに やりがいを実感！

かめだ さとし
2019年入社 **亀田 哲志** (24歳)

三原市立第五中学校・広島県立三原東高等学校 出身

将来の夢が見つからなかった学生時代、自分の興味がある分野は何だろうと考え、「体を動かすこと」と「ものづくり」という2つの好きなことが重なる建築の道へ進もうと決めました。専門学校で二級建築士の資格を取得して、地元で働きたいという気持ちからセイムに入社。1年目は改修工事の補助をメインで手掛けました。ちょうど豪雨災害のあった年で、被災した白竜湖のドームと付近の体育館の改修を行い、新しく生まれ変わった姿を

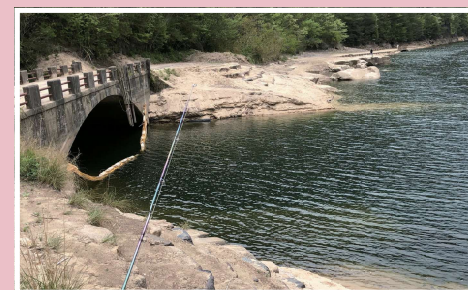
見て大きな満足感を得たことを今でも覚えています。3年目からは新築工事に携わるようになり、扱う資材が増えて分からないことも多々あります。先輩に聞いたり自分で調べたりしながら、知識と技術を磨いています。建設業は、きつい、汚い、危険などあまり良いイメージを持たれないことが多いですが、完成した時の達成感と、これから先10年後も20年後も残っていくという喜びは、他の仕事にはないやりがいだと感じています。

地域に根差し、多様な建造物を受注 創業95年以上の地域密着企業

三原、広島を事業フィールドに、公的な教育・福祉施設や産業支援施設をはじめ、民間企業の各種商業ビル、工場、医療施設などの建造物を手掛け、そのノウハウを応用して事業拡大を図っている。地域の道路美化清掃活動にも励んでおり、国土交通大臣より表彰を授与した。



休日の過ごし方



ダムや池でバス釣りを満喫 キャンプにもチャレンジしたい

バス釣りが好きで、いろいろな池やダムを巡っています。写真は山口と広島の県境にある八坂ダム。今後はキャンプにも挑戦してみたいです！



大好きなダンスで 培った人間力 一人前の梱包管理士に

2022年入社 ^{かわうえ ゆう ま}
川上 勇磨 (27歳)

三原市立第五中学校・広島県立三原東高等学校 出身

中学3年生の頃にダンスと出会い、世界で活躍できるダンサーを目指していました。高校卒業後に大阪へ出て、チームの皆でさまざまな大会に出場。大きな大会でベスト4まで勝ち上がったことは、強く心に残っている出来事です。ダンスを仕事にするのは難しいと考え、今は趣味として楽しんでいます。どうやったらもっと上手くなれるのか、失敗した部分を改善して次につなげる姿勢は、ダンスを通して育むことができたと感じています。帰郷

をきっかけに入社したセイム梱包で、現在は見習いとして頑張る日々。工作機械や部品など、お客様からお預かりした荷物の寸法を測り、適したサイズの木箱に梱包するのが担当業務です。先輩方はそれぞれに自分なりの手順を追求して、より丁寧にスピーディーに梱包する技術を身に付けています。そんな先輩方から学べることをたくさん吸収し、いずれは梱包管理士の資格を持つ一人前の技術者になるのが目標です。

多彩なニーズに応える充実した設備と

先進の梱包技術で物流を支え、世界を結ぶ

電子部品などの軽量物から精密機械や大型機械までの多様な製品を、耐水、防備などの高度な技術で梱包し、安全で経済的な物流に貢献。創業95年以上の経験と確かな技術で業界をリードし、新しい物流と梱包スタイルを追求する。諸外国への輸出梱包にも対応する。



休日の過ごし方



自然の景色から得られる開放感 子どもと一緒に出掛けるのが夢

山や海など自然を体感できる場所が大好き。子どもが幼いのでまだ行けていないのですが、いつか一緒に山登りや釣りを楽しみたいです。



患者さんを笑顔に！ 作業療法士として 体と心を丁寧にケア

2021年入社 ^{しまだ わかな}
島田 若奈 (23歳)

三原市立宮浦中学校・広島県立三原高等学校 出身

作業療法士という仕事を知ったのは、高校生の頃。看護師をしている母から教えてもらい、体だけでなく心のケアもしていくという仕事に魅力を感じ、目指すようになりました。大学で作業療法学を学んだ後、三原病院へ就職。現在は認知症の病棟で、患者さんの好きなことを一緒にしたり、体の機能が落ちないように体操をサポートしたりして過ごしています。コミュニケーションを通して患者さんの新たな一面を知り、笑顔が見られた時は

うれしいですね。料理やお花、将棋など、たくさんの趣味や経験を持つ皆さんから教えていただくことも多く、毎日お話する時間がとても楽しいです。心掛けていのは、患者さんの気持ちに寄り添い、丁寧にケアをしていくこと。言葉で上手く伝えられない患者さんと接する時は、どうしてほしいのかを表情から読み取るようにしています。まだ経験は少ないですが、周りの先輩方から学び、専門的なスキルを身に付けていきたいです。

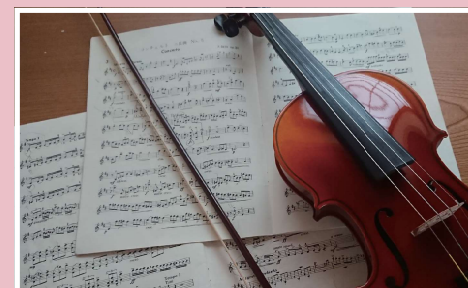
幅広い年代の心の健康を支える

地域に寄り添う精神医療施設

地域の人々の心の健康を支える専門医療機関として、児童思春期から老年期の認知症まで、幅広い年代の診療を行う。医療・福祉の関連施設があり、急性期の入院治療・退院後の生活など、切れ目のない支援体制が整うのも強みだ。広島県精神科救急医療施設に指定。



休日の過ごし方



心地良い音色に包まれて♪ 趣味のヴァイオリンを演奏

小学4年生の頃から続けているヴァイオリン。クラシックの名曲を弾いたり、流行りの曲や好きな曲を耳コピしたりして楽しんでいます。

医療法人 大慈会 三原病院

誰かが困っている時はフォローして助け合う
大切にしているのは“お互いさま”の精神！

重度認知症患者デイケア「どいむ」
よしだ あやか
吉田 紋佳 (27歳)
(2017年入社)

作業療法室室長・診療支援部次長
にしこ なおみ
西迫 尚美 (54歳)
(1990年入社)

作業療法室
しまだ わかな
島田 若奈 (23歳)
(2021年入社)

職員の明るく楽しい雰囲気が
患者さんや利用者さんを笑顔に

高水準の医療とケアを提供し、
地域の人々の心の健康を支える
医療法人 大慈会 三原病院。
有給休暇、産休・育休の取得促進や、
保育所の設置など職員の働きやすい
環境づくりに積極的に取り組んでいる。

——それぞれの部署や仕事内容、職場の
雰囲気について教えてください。

島田:作業療法室という部署で、患者さん
と一緒に体操や歌、編み物など、さまざま

年齢の壁はナシ！
気軽に相談しやすい
アットホームで
風通しの良い社風

活動を行っています。患者さんの好きなことや
その人らしさを大切にしながら、心身をサポート
する仕事です。

西迫:私も作業療法室に勤務。新卒で入社し
たので、勤務年数は30年以上になります。当
初は私を含め3人だった作業療法士が、今で
は25人に！ 室長・次長の立場として、スタッフを
まとめていく業務もあります。

吉田:私は同じ敷地内にある重度認知症患者
デイケア「どいむ」で働いています。日帰り
で来られる利用者さんと一緒に、いろいろな活動
をしています。お花見や紅葉狩りなど、季節ご
との外出活動も楽しいですよ。

西迫:うちの社風はアットホームで、わりとオー
プンな雰囲気だと思うんだけど、20代の2人か
ら見てどうですか？



吉田:私は入社を決めた理由の1つが、社風な
んです。大学4年の臨床実習で三原病院を訪
れましたが、その時に職場の雰囲気がとても良
くて、ここで働きたいと思いました。職員の年代
は20代から60代までと幅広いですが、年齢の
壁を感じたことはありません。仕事の話はもちろ
ん、プライベートのことも話しやすいですね。

島田:私もそう思います。入社1年目は、分ら
ないこともたくさんありましたが、先輩たちが1つ
1つ丁寧に教えてくれて、乗り越えることができ
ました。優しい先輩ばかりで気軽に相談しやす
いです。

吉田:明るくて面白い先輩が多いよね。ギスギ
ス感がまったくない。職員がそんな雰囲気だか
ら、患者さんや利用者さんも自然と笑顔になっ
ている気がします。利用者さんから「ここに来た
ら楽しくて幸せ」と言ってもらえた時はうれしか
ったですね。デイルーム内がさらに居心地の良い
空間になるようにしていきたいです。

西迫:精神科は病院によってカラーがあるけれ
ど、三原病院は私が入社した頃から明るかった
です。風通しが良く、悩みごとを気兼ねなく相談
できる環境があると思います。この空気感は、
後輩たちへと受け継いでいきたいな。

吉田:受け継ぐために、心掛けていることはあり
ますか？

西迫:自分から積極的に声をかけるようにして
いるかな。「お子さんは何歳になった？」「ご両
親はどんな？」など、普段からプライベートな話を
して情報を共有していれば、何かあった時に対
応しやすいよね。

吉田・島田:確かに！

有給休暇の取得から
子育て支援制度、
同好会活動まで
手厚くサポート！

——3人は年齢もプライベートの環境も異なり
ますが、働きやすさについてはどうですか？

島田:定時が17時で、残業はほとんどありませ
ん。仕事が終わった後に、自由な時間があるの
で、友達と会ったり、趣味のヴァイオリンを弾い
たりしています。

吉田:三原病院の月間平均残業時間は約51
分！ 2022年3月に結婚したんですが、早く帰っ
て家のことをできるのがうれしいですね。体もし
かり休めることができるので次の日のパワーにつ
ながるし。あと、有給休暇も取りやすいです。先
輩や同僚に相談すると「いいよ」と言ってくれる
ので、遠慮なくジャンジャン使っています(笑)

西迫:私はそこまで使っていないけど、残った有
給休暇をストックできる制度は、病気や介護な
どいざという時に利用できるからいいよね。うち
の有取得率は約82%。全国平均が約57%
みたいなので、データ上でも働きやすい職場と
いうことになるね。

吉田:時間単位で使える時間有給も便利です



よね。時間有給は、お子さんを病院に連れて行
く時に使っている人が多い印象。お子さんとい
えば、保育所を併設しているのも子育て世代
にとってはありがたいですね。病院のすぐそ
ばだから、何かあっても安心！

島田:産休や育休、時短勤務など、子育て支
援制度を使っている人は、男女問わずたくさん
いますよね。

西迫:現在、産休・育休を取っている人は作業
療法室に2人、三原病院全体だと10人！

島田・吉田:そんなにいるんですね！

西迫:福利厚生で言うと、同好会への支援制
度は知ってる？

島田:詳しくは知らないです……。

西迫:部署や職種の枠を超えて、広くつながれ
るようにと、茶道、野球、テニス、ランニングなど
約13の同好会が活動中。実は、私もビーチ
ボールバレー同好会に所属していて、コロナ禍
の前は、三原市内の体育館を借りてみんな
で楽しく汗を流していました。

島田:楽しそうですね。

西迫:体を動かすのでストレス発散になるし、普
段は関わりのない他部署・多職種の人と話せ
るのが楽しい。正式に同好会として認められ
ると、職場から補助金ももらえるし。

吉田:改めて話を聞くと、本当に恵まれた環境
ですね。

西迫:三原病院自体の制度が手厚いし、誰か
が困っている時はフォローして助け合おうって
考える人が多く、各種休暇も取りやすい。職員
たちの間に“お互いさま”の精神があるよね。

島田・吉田:そうですね、これからもこの文化を
大切にしていきたいです！





本人が望む生活を 続けられるお手伝い 人を支える存在に

2021年入社 ^{なみ ま る か} 波間 瑠香 (19歳)

三原市立宮浦中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

高校入学までは保育士になりたいと思い、保育について学べる総合技術高等学校の人間福祉課に入学しましたが、幼い頃から地域の高齢者の方たちと触れ合う機会が多かったこと、また、授業で福祉について学ぶうちに興味が湧いたことから、介護職を目指すようになりました。私の祖父が介護を必要としている状態で、自宅近くに高齢者福祉施設があり、交流をしていく中で介護を身近に感じるきっかけに。今でも心に残っているのは、

高校の先生が言っていた「介護は、その人の人生のお手伝いをする仕事」という言葉。介護を必要とする人たちが、普段通りの生活を続けられるように手助けできればと考えています。利用者さんに「あなたが来てくれると、こっちまで元気になれる」と言ってもらったことがあり、私自身の存在を認めてもらえたようですごくうれしく思いました。さらにお手伝いできる仕事の幅を増やしたいので、今後は介護福祉士の資格取得を目指しています。

人々の安心と心豊かな社会を実現

子どもから高齢者までをサポート

高齢者福祉、認可子ども園・保育園、児童発達支援、地域支援の分野で20を超える事業を展開。約300名の職員が市民生活と福祉を幅広くサポートしている。働きやすい職場改善にも取り組み、「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」プラチナ認証を受けている。



休日の過ごし方



感染対策を考え近場&屋外で 収束後は県外に行くのが楽しみ

コロナ禍ということもあり近郊で遊んでいます。県内のすてきな所を見直すきっかけになりました。収束したら県外にも出掛けたい！



幼い頃に憧れた ものづくりの世界で 一人前の技術者に

2021年入社 ^{かい だい ち} 柏 大地 (19歳)

三原市立第三中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

「あれも造ったんよ」。昔、父と一緒に釣りに行った際、目の前を横切る大きな貨物船を見ながら聞いた言葉。造船業の仕事に携わっている父は、あんな大きな物を手掛けるんだと、幼心ながらにかっこいいと感じたのを覚えています。ものづくりの世界に憧れて電子機械科のある高校に進学。中でも、プログラム通りに機械が動くマシニングセンタ(自動工具交換機能を持った工作機械)の授業が面白く、こういった仕事ができたらいいなと思

いました。タイムに入社後は希望通りマシニングセンタのオペレーターに。材料を加工し、図面通りに製品が出来上がった時は達成感でいっぱいになります。時には失敗することもあります。先輩と一緒に必ず原因究明を行い、同じミスを二度繰り返さないように気を付けています。また、事故を防ぐためのダブルチェックも必須で、一つずつの作業を確実にこなして技術を向上。安心して仕事を任せてもらえる、一人前の技術者を目指します。

半導体分野や加速器分野に貢献

高度な金属加工技術で暮らしを支える

切削加工の他にも、特殊な工具を使って金属同士を一体化させるFSW(摩擦攪拌接合)の技術も保有。加速器の開発に関する特許も複数所有し、アルミやステンレスはもちろん高度な技術を要するチタンや耐熱合金の加工も得意とする。太陽光パネルを設置しSDGsにも配慮。



休日の過ごし方



外食したり、ゲームをしたり 地元の友達と過ごしてリラックス

休日は地元の友達と食事に行ったり、ゲームをしたりして過ごします。気心知れた友人と定期的に遊ぶことができ、地元就職の良さを感じています。

社会福祉法人 泰清会

介護や保育の分野でエキスパートとして活躍 地域の安心と心豊かな社会の実現に貢献したい



介護職
なみま るか
波間 瑠香 (19歳)
(2021年入社)

保育士
おかだ めぐむ
岡田 萌夢 (24歳)
(2021年入社)

子どもから高齢者までをサポートする 「泰清会」の一員であることに誇りを持って

高齢者福祉、介護、保育、児童福祉や地域支援に力を入れる「社会福祉法人 泰清会」はサンライズグループという愛称で親しまれ、信頼を寄せられている。専門職として頑張る若手職員に職場の魅力を語ってもらった。



必要
な
人
に
必要
な
援
助
を
届
け
る
法
人
地
域
に
安
心
を

——はじめに、お二人の入職までの経緯を教えてください。

波間:実家の近くに泰清会の施設があって、流しそめんや夏祭りなど、地域住民も一緒になって楽しめるイベントを行っていたんです。私もよく参加させてもらっていたので、施設にとっても親しみを持っていました。地域に密着して事業を展開されているところがいいなと感じていました。

岡田:私はもともと保育士を志していて、広島都市学園大学の子ども教育学部に進学しました。大学在学中に保育園と幼稚園、養護施設へ実習に行ったのですが、1番印象に残ったのが今勤務している「さんさんまりんこども園」です。とにかく職場の雰囲気が良くて、ここに就職したいなと思い、応募しました。

——普段はどのようなお仕事をされていますか。

波間:入職してまだ2年目ですが、当初から定期巡回・随時対応型訪問介護という市内では1つしかない事業所で、訪問介護を中心にした業務に携わっています。今は利用者さんのご自宅と、サービス付き高齢者向け住宅に伺ってお手伝いをすることが多いですね。訪問時間はまちまちで、利用者さんが手助けてほしい部分をお手伝いしています。例えば掃除や入浴介助、時にはデイサービスの送り出しに立ち合うこともあります。その人が求めていらっしゃるものは何かをくみ取りながら、ケアプランに沿ってサポートしています。

岡田:私も同じく2年目で、当初は3歳児のクラスを担当していました。2022年から1歳児のクラスを持っていますが、年齢が違くと子どもたちの動きもまったく違います。1歳児だと言葉での意思疎通は難しいので、表情や行動の小さな変化を見逃さないようにしています。一人ひとりできることとできないことが違うので、必要なことが何かをくみ取るという部分は、波間さんの仕事とも通じるものがあるかもしれないですね。

——職場の雰囲気はいかがですか。

岡田:先ほど担当が変わった話をしましたが、さまざまな年齢の子どもを見たいと思い、面談の時に希望を伝えさせていただきました。定期面談で希望や悩みなどを聞いてもらえるのはありがたいですね。

波間:私の場合は、入社後すぐにエルダー担当(新人職員の現場教育者)の先輩がついてくださったので、困ったことがある時は、まずその先輩に相談していました。その先輩を含め、職場の人たちは皆さん本当に優しいです。自分の母親より年上の職員さんもいるし、30代40代の子育て期の職員さんもいて、仕事も人生においてもアドバイスをくれます。「何かあったらすぐに言いんさいよ」と声をかけてくださり、すごく助けてもらっています。

岡田:私の職場の皆さんも、温かい人ばかりです。実習に来た時に「絶対にここで働きたい」と感じたイメージそのままです。

キャリアパス
制度を使って
目指す道を
つくっていく

——今後のキャリアや人生設計について教えてください。

波間:まだ社会人としての経験が浅いので、今はとにかく目の前の仕事に全力集中です。3年

経ったら介護福祉士の資格試験に挑戦できるので、一步步前進したいです。

岡田:私もまずは保育士としての経験をたくさん積んでいきたいです。泰清会は保育以外に児童福祉の事業所も展開しているので、例えば児童発達支援に関係するような資格を取得して職種転換することもできます。将来的に何かのきっかけで、そういう道を志すことがあるかもしれないけれど、今の私が目指すのは保育のエキスパートです。

波間:キャリア構築については、「キャリアパス制度」がありますよね。ある程度の実務経験を積んだら、全体の取りまとめやマネジメントに軸足を置くジェネラリストコースか、実務に特化した人材を目指すスペシャリストコースかを選択できる制度です。岡田さんは今のところスペシャリストコース志望ですか？

岡田:まずはそこまでキャリアを積まないといけないですね(笑)。泰清会には全体で16名の管理職がいますが、45%にあたる7名が女性です。女性が活躍されている環境だとは思っていましたが、その通りですね。

波間:私の職場では、小さなお子さんを抱えて働いている職員さんがいて、柔軟な働き方をされていますよ。夜勤を外した日勤や時短勤務で、育児とのバランスを取られているようです。そうした先輩を見ていると、もしも自分が同じ立場になった時にも対応してもらえそうだなと思って安心します。一時は、自分が結婚や出産で急に職場を離れるようになってしまったら、周りに迷惑をかけてしまうかも考えていたのですが、そんな不安も先輩方がくんでくださいました。前にそういった話題になった時に、「みんな出産



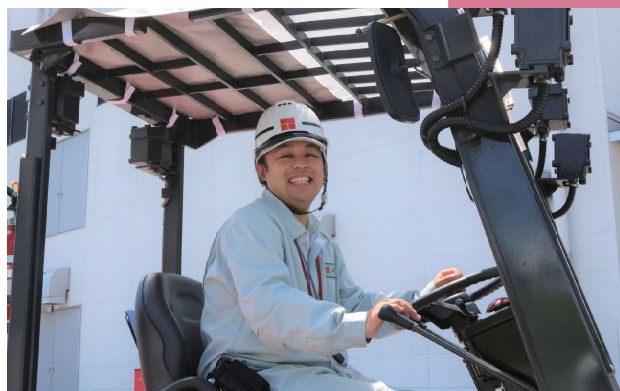
や育児を経験しながら仕事を続けてきたんだから、絶対に誰も責めたりしないし、安心して任せればいいよ」と言ってくださり、ほっとしました。

岡田:そんなふうに言っていたら、今後もののびの仕事に取り組みますね。私の職場にももうすぐ出産を控えている先輩がいるのですが、皆さんすごく気にかけていますよ。「体調が悪くなったらすぐに言ってよ」「体に負担がかかる仕事は代わるけんね」と、かわるがわる声をかけています。

波間:泰清会は、地域の人たち誰もが安心して健やかに暮らせるようお手伝いする法人。そういうところに魅力を感じているし、2年目を迎えた今、少し余裕をもって仕事に向き合えるようになったので、利用者さんたちとより良い関係を築きながら業務に取り組んでいきたいです。

岡田:私が勤務しているこども園は同じ建物の中に高齢者施設があり、子どもたちと高齢者の触れ合いがあります。赤ちゃんからお年寄りまでを支援する法人で働けることに誇りを感じると同時に、今後そんな泰清会の一員として、日々の仕事に邁進したいです。





どんな時も頼られる 縁の下の力持ちに 失敗こそ役立つ経験

2014年入社 ^{もとかわ かえで} 元川 楓 (27歳)

竹原市立竹原中学校・私立如水館高等学校 出身

生き物が好きで、ドルフントレーナーやトリマーに憧れていた学生時代。職業についていろいろと調べていくうち、地元で安定して長く働ける仕事がしたいと考えるようになり、高砂香料西日本工場を選びました。入社時はまだ工場が操業しておらず、新しい環境で一から人間関係が構築できるかもと感じたのも惹かれた理由のひとつです。1年間は神奈川や静岡で研修を受け、どのような製品がどのような流れで作られるのか、工場全体の

動きを学びました。現在は生産物流課で原料の受け入れや出庫を行っており、縁の下の力持ちとして工場を支えていることに大きなやりがいを感じます。今後は物流業務の中で使用している倉庫在庫の管理システムを、これまで以上に理解して使いこなし、安心して業務を任せてもらえる存在になりたいです。若い頃の失敗は、いつか役に立つ経験になると思っているので日々挑戦あるのみ。一緒にいろいろなことにトライしていきましょう！

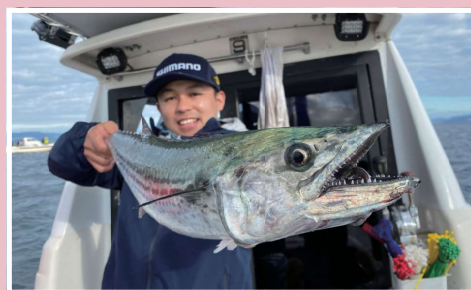
国内トップクラスのフレーバー工場

福利厚生充実と働きやすさを実現

国内の香料分野で売上高トップクラスを誇る高砂香料工業が100%出資する西日本初の生産拠点。主に液体香料を製造し、年間約3,000tを超えるフレーバーを生産。若い従業員が多く活気に満ち、働きやすさに定評がある。食堂のほか多目的コート、シャワールーム等も充実。



休日の過ごし方



地元の友人と釣りを楽しむ！ 日本海や太平洋にも挑戦

毎週のように、地元の友達と一緒に釣りを楽しんでいます。これからは日本海や太平洋にも出向いて、さまざまな魚種を釣り上げるのが夢です！



大切な人をそばで 支えられる地元就職 仲間と楽しく勤務！

2019年入社 ^{かじはら ゆうや} 梶原 悠矢 (25歳)

三原市立本郷中学校・広島県立三原東高等学校 出身

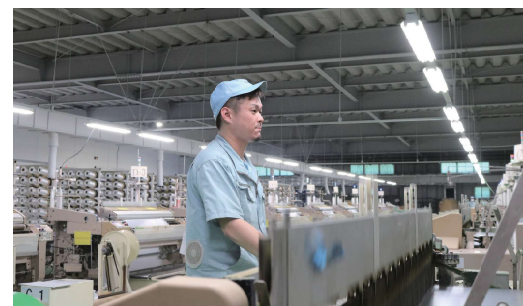
学生時代は人を笑わせるのが好きで、友達からも「一緒にいると楽しい」と、よく言ってもらいました。また、野球チームで培ったコミュニケーション能力や、仲間との信頼関係が自分の財産だと感じています。本来は、体を動かしたり、人とつながって作業に取り組んだりする職場環境が合っていたと思うのですが、高校卒業時に深く考えないまま就職。会社で黙々と行うパソコン作業が「自分に合っていないかも」と感じ、3年間悩んだ末、中国紙

工業に転職しました。養生テープを作る担当で、基本は1人で作業を行います。困った時は誰かにすぐ相談できる心強い環境です。三原では過去に豪雨災害がありましたが、地元で働くメリットは、家族や友人など大切な人が困っている時にすぐに駆け付けてあげられる距離にいます。地元就職自体が地域を活性化することにも一役買っていると思うので、後輩の皆さんにも、ぜひ三原で働くことをおすすめしたいです。

昭和52年の創業以来成長を続ける

ラミネート加工製品の製造拠点

重装、包装資材など多品種少量生産のラミネート加工品を多様な販売先に納品、さまざまな分野で広く利用されている。“お客様が満足される製品づくり”を第一に考え、自社内一貫生産体制で製造。2021年からは三原第二工場が操業を開始し着実に成長を遂げている。

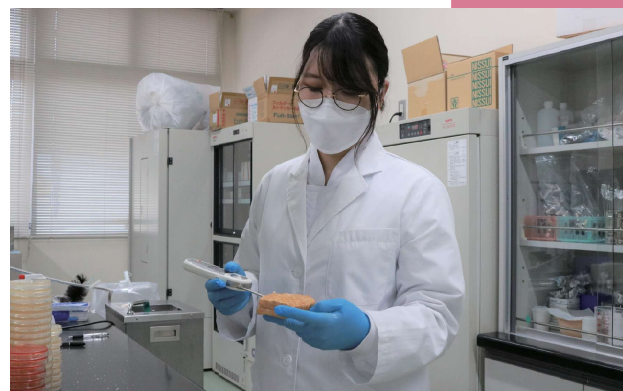


休日の過ごし方



彼女とお出掛け時間が癒やし 家庭を持ってさらに頑張りたい

籍を入れる予定の彼女と、ランチや旅行に出掛けるのが楽しみ。家庭を持ったら今以上に仕事もプライベートも充実させていきたいです。



学生の頃からの夢を実現！ 食べる人を笑顔にする 安全でおいしい製品を

2021年入社 ^{いちに ゆう き} 一谷 優希(24歳)

広島市立戸坂中学校・広島市立舟入高等学校 出身

大学在学中に栄養管理について学び、将来は食に関わる仕事がしたいと考えていました。就職活動の際に、総菜や菓子を製造する都吹と出会い、多様な食品を手掛けることで幅広い仕事ができるのではないかと考え、入社を志望。品質保証部に所属し、出来上がった製品から菌が検出されないかなど、製品の安全を管理したり、製造ラインで温度・重量の計測や、異物混入を防ぐための機械の異常チェックも行っています。また、大学時代

に調理実習などを通して身に付けていた衛生面や体調面での管理が、仕事をする上で生かされていると感じます。まだまだ分からないことが多く、先輩を頼っている毎日ですが、いずれは後輩を指導できるよう業務全般を把握したいです。食品に関わる仕事は、性別や世代を超えて、多くの人に笑顔を届けることができます。「食に関わる仕事ができる!」という、夢が叶った入社時のワクワク感を大切に、これからも仕事に取り組んでいきます。

国内最高レベルの品質管理体制と

オリジナルの冷凍技術が強み

最新システムを取り入れた国内最高レベルの品質管理体制と、解凍後も食感変化が少ないオリジナルの冷凍技術を武器に、冷凍食品業界で確固としたポジションを構築。自社商品のほか、日本を代表する大手食品会社から受注生産を受け、幅広い製品を製造している。



休日の過ごし方



複数のバレーチームに所属 気心知れた仲間と充実の時間

広島と三原のバレーチームに所属し、週に1～2回練習に参加しています。試合に出場することもあり、気心知れた仲間と楽しく汗を流しています。



何でもこなせる 電気工事士になって 地域の役に立ちたい

2020年入社 ^{いし い とおる} 石井 透(21歳)

三原市立第二中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

自宅の電化製品の調子が悪いとすぐに修理してくれた、電気関係の仕事をしていた父の背中を追いかけて、総合技術高等学校の電子機械科に進学。電気や機械加工の知識と技術を身に付け、在学中に校内でも、毎年10人ほどしか合格者が出ない第一種電気工事士の資格を取得。自信になるとともに、今では資格のお陰でできる仕事の幅が広がり、さまざまな業務に取り組んでいます。まだ電気の通っていない新築住宅やオフィスに電気

を供給する作業が多く、無事に完成させて電気を安全に使えるようにすることがやりがいです。三原で豪雨災害があったときは社員総出で復旧作業に取り組んだと聞き、自分もたくさんの現場で経験を積み、もしものときは地域の役に立ちたいです。さらに公共工事にも積極的に携わり、電気のことなら何でもこなせる“スーパー電気工事士”になりたいと思っています。これからも自分が描いてきた理想の働く姿を、懸命に追い求めています。

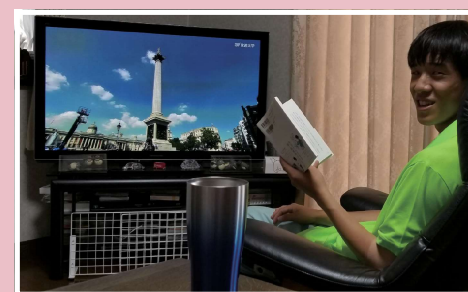
高い志と使命感、誠意がモットー

公共工事の実績も豊富

住宅やビル、工場などの電気工事や配線工事全般に対応。目指すは、高度な技術と信頼を軸にお客様から必要とされる地域No.1企業。勤務年数や実力に応じた現場を任されることで、個々の技術を真摯に磨くことができます。三原市や広島県の公共工事を多数手掛けている。



休日の過ごし方



好きな動画コンテンツを観て 仕事のモチベーションに!

コロナ禍もあり、自宅で動画鑑賞をする機会が増えました。車の改造動画などが好きで、刺激を得たり、仕事のモチベーションにもつながります。



非破壊検査の仕事に興味を感じて入社 資格取得のため勉強中!

2019年入社 ^{うめもと あやか} 梅本 彩加(26歳)

福山市立幸千中学校・広島県立神辺旭高等学校 出身

昔から歴史好きで、学芸員になることを夢見ていました。大学生の頃に資格を取得して学芸員の仕事を探しつつ、一般企業でも就職活動をスタート。たまたま参加した説明会で「テクノス三原」と出会い、非破壊検査という仕事の魅力に惹かれました。資格取得の勉強をする中で文化財を調べるために行っていた非破壊検査。その経験が生かせるかもと思ってインターンシップに参加し、会社の雰囲気が良かったことから入社を決めまし

た。私は主に船舶の超音波検査を担当しており、関わった船が初めて進水している様子を見るとやりがいを感じます。男性が多い仕事ですが、狭いところの検査では小柄な体型を活用できることも。また、女性ということを珍しがって話しかけてもらえたりもするので、現場の人たちとコミュニケーションを取るのにも役立てられています。今後は次の段階の資格取得を考えているので、日々の仕事と勉強を両立させていきたいです。

海外の案件にもフレキシブルに対応

船舶・橋梁の精密検査を行うプロ集団

船や橋などの精密検査(非破壊検査)を行い、フィリピンや中国に事業所を持つなど海外でも展開。ハッチカバー(船の荷物を載せるところの蓋部分)の気密試験は世界トップクラスのシェアを誇る。既存の検査サービスのみならず新事業にも着手し安定した経営基盤を構築する。



休日の過ごし方



思いつくままに趣味を満喫 博物館や神社仏閣巡りの休日

博物館や美術館、神社仏閣に足を運んでいます。気になる展覧会があれば、県内外問わず出掛けて泊まりで楽しんでくこともあります。



後輩を助けられる ベテラン社員に 楽しい寮生活が活力

2018年入社 ^{しんが い ゆう ま} 新開 悠真(22歳)

三原市立第二中学校・私立如水晶高等学校 出身

高校時代は機械システム科に在籍。周囲の友人は、機械操作がメインの工場を就職先として選ぶことがほとんど。自分も工場というなじみのある職場環境で求人が出ていた東洋製罐に入社を決めました。その年は採用人数が例年よりも多かったため同期は6名。困った時は相談に乗ってもらったり、分からないことを気軽に聞いたりできるので心強いです。さらにうれしいのは、独身寮が完備されているので寮仲間と充実した時間を過ごせ

ること。一緒にご飯を食べたり、ゲームをして遊んだり、帰宅した後も楽しく過ごしています。職場ではペットボトルの元になるプリフォームを作る作業に従事しており、形状や工程によっては初めて担当する作業内容の場合もあります。先輩に手順を聞きながらメモを取り、自分の引き出しを増やせるよう努めています。これからは後輩も増えていきます。自分が先輩からもらったことを、後輩たちにも引き継いでいきたいです。

飲料缶やPETボトルなどの包装容器製造

新入社員も安心の教育研修制度が充実

生活に欠かせない飲料缶やPETボトルなどの包装容器を製造。国内45社、海外52社のグループ企業を持ち、東洋製罐としては国内15カ所の事業所を展開する。機械のオペレーションや保全といった専門知識、技術を身に付けることができ、教育研修制度も充実している。

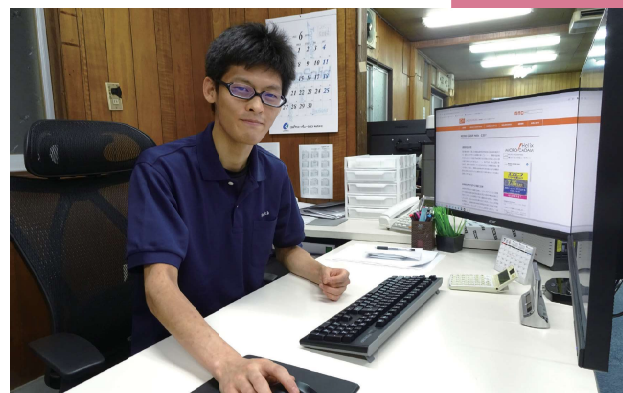


休日の過ごし方



先輩にすすめられて始めたゴルフ 今では自分から誘うように

2人の兄や先輩に誘われ、社会人になり本格的にゴルフデビュー。今では自分が後輩を誘い、コミュニケーションツールとしても楽しんでいます。



未経験からの挑戦！ ゼロからものを作る 設計士を目指して

たなべ ひるなり
2018年入社 田邊 祥也(30歳)

庄原市立総領中学校・広島県立三原東高等学校 出身

中学・高校時代の趣味は読書。出版やライターの仕事に憧れていたため、マスコミ系の大学に進学し、文芸部に所属していました。ゴリゴリの文系出身でしたが、縁あって日産興業の設計部で働くことに。設計はまったくの未経験でしたが、新しいことに挑戦するのも面白そうだと思い入社を決めました。現在は、既に設置されている機械と新規に導入する機械の間をどのように繋げるか考え、それに見合った部品をパソコンで設計してい

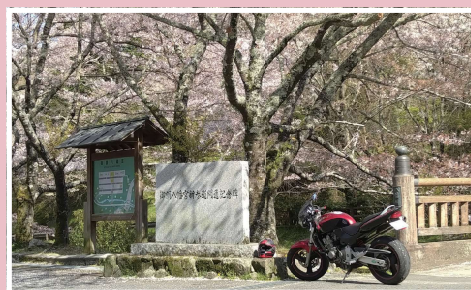
ます。部品がぴったりとかみ合い、古いものと新しいものが上手く繋がった時は、大きな達成感を得られます。最近は、以前の設計で得た経験や知識から多くの選択肢を持てるようになりました。これまでは既にある機械の入れ替えや改造が多かったので、ゼロからの設計に携わることが今後の目標。小さくても良いので、「これは自分達がゼロから作り上げたもの」と自信を持って言える、会社の代表作のようなものを作りたいです。

設計から工事まで幅広い仕事内容と 時代に合った働きやすい環境が魅力

1966年の創業以来、機械設計や製作、建築設備工事を通して社会に貢献。生活に不可欠な水に関わる工事から、産業を支える機械の設計まで、幅広く事業を展開する。有給休暇の取得率や残業時間の少なさから、2022年には「ユースエール認定企業」に選ばれた。

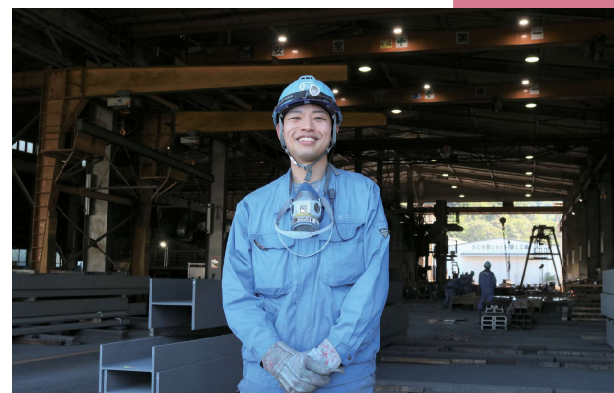


休日の過ごし方



愛車に乗って西へ東へ ツーリングで名所巡り

就職と同時に購入した中型のバイクで、気ままにツーリングに出掛けています。目標は日本三景に行くことで、残すは宮城県の松島のみです。



自分が望むワーク ライフバランスを 実現していこう

むらかみ たいち
2019年入社 村上 汰一(23歳)

三原市立第五中学校・広島市立広島工業高等学校 出身

高校生の頃は自動車科に在籍。学んだ技術と知識が生かせる自動車業界に就職しましたが、地元で働きたいという思いと、「休みの体制がしっかりしているよ」という友人のすすめもありニホンケミカルに転職しました。年代も性格も趣味もバラバラの、個性的な人たちがたくさん。皆さんから刺激を受けつつ自身の視野が広がってきたのを感じています。自分が手掛けた製品や鋼材が、どこかのビルや橋に使われているかもしれないと考え

ワクワクします。実際に納品先の造船会社から招待を受け、自社の製品が用いられているマグロの冷凍船を見た時はそのスケールに感動しました。社内には人材育成制度が導入されていて、成長支援の体制や成長に応じた昇格制度もあり、今後は管理職を目指します。また、友人から聞いていた通り、休みがきちんと取れる環境なので、家族で日本各地を旅行したいです。自分が望むワークライフバランスを実現していこうと考えています。

経験と技術力でものづくりを支える

進化し続ける金属加工のエキスパート

1967年、尾道で創業。金属表面処理加工や塗装の技術で、造船、橋梁、プラントなどの幅広い分野に携わっている。お客様の「こんなことできない？」に創意工夫を持って応えることが進化の源に。経験と高い技術力で、地域や日本のものづくりの発展に寄与している。



休日の過ごし方



家族と団らん、趣味も満喫 充実の週末が仕事の活力に

今年1月に生まれたばかりの娘と日曜が休みの妻と、団らんタイム。車好きの友人と一緒にイベントへ参加することもあり、週末を満喫しています。



仲間たちと一緒に 力を合わせて 安心と安全を守る

やま だ た い ち ろ う
2021年入社 山田 太一朗 (24歳)

竹原市立竹原中学校・広島県立忠海高等学校 出身

ものづくりの世界に憧れを持っていて、やりたいことが見つかりそうな広島工業大学に進学しました。学業の傍ら、学園祭の実行委員会メンバーとして活動。協賛をお願いするために企業を訪問したり、他校の学園祭の視察に行くなど、精力的に動きました。皆で力を合わせてやり遂げることの喜びを、多くの経験を通して味わうことができました。先生からの勧めがあって入社した日本シーレークは、建物や船舶などの非破壊検査を行う会

社で、私は航行の安心と安全を裏から支える役割を担っています。社内は和気あいあいとしていて、風通しの良い雰囲気。2022年の1月からは責任者として、これまで以上にチームの和を大事にしています。船を無事に引き渡し、進水式で堂々とした姿を目にする時は大きな達成感を感じます。現在持っている浸透探傷試験の技術者資格の他にも取得したい資格があるので、業務と勉強を両立しながら検査のプロとして向上していきたいです。

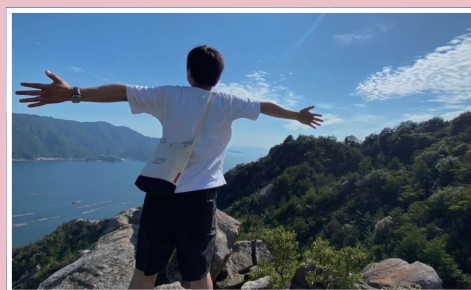
非破壊検査でお客様の躍進に貢献

社員育成や技術発展にも力を注ぐ

石油化学プラントや造船など、お客様の躍進を支えるベストテクニカルパートナー企業として60年。非破壊検査で広島県東部エリアの安心安全を支えている。社内は各種制度や福利厚生も充実しており、ワークライフバランスと社員ファーストをモットーにしている。



休日の過ごし方



ドライブや旅先で食事を楽しみ 疲れを癒やして、明日の活力に

ドライブや旅行をして、行った先でおいしいものを食べるのが好き。体重は増える一方ですが(笑)、日頃の疲れが取れて活力を養えます。



大学での学びを生かし 生物と食に関わる 仕事に挑戦

たかはし しん た ろ う
2022年入社 高橋 新太郎 (36歳)

竹原市立竹原中学校・広島県立三原高等学校 出身

2023年夏以降、野村乳業が三原市の広島臨空産業団地に新工場を設立する。この話を聞いて「ぜひ働きたい」と思い、入社を志望しました。大学時代は生物系の学科に在籍し、生物や食、環境問題について学びました。大学時代の学びを生かせる分野で仕事がしたいと考え、牧場や食品メーカーなどで働いてきましたが、生物と食の両方に関わりたという思いがずっとありました。野村乳業は、自分にとってまさに理想の職場。現在

は製造ラインに携わり、今後は新製品の研究開発に関わることが決まっています。牛乳メーカーから乳酸菌飲料メーカーへと事業転換した野村乳業。新しい領域へのチャレンジとなる未来に、とてもワクワクしています。目標は、人々の健康的な食生活に貢献できる新製品を開発すること。製造現場で製品が生まれる過程を学び、研究開発に生かしていきたいです。新工場の設立でにぎわっていく三原市のこれからも楽しみです。

植物乳酸菌の製品開発で世界に進出

腸内環境の研究で国内外から高い評価

明治30年創業。「おなかを育てる」をコンセプトに、牛乳やヨーグルトなどの乳製品開発から始まり、現在は植物乳酸菌の高濃度発酵技術を応用した乳酸菌飲料を手掛けている。海外の乳製品メーカーへの発酵技術指導や発酵原料の提供なども行っている。



休日の過ごし方



畑仕事や釣りをしたり 地元の自然を満喫

兼業農家である実家の畑仕事を手伝ったり、釣りを楽しんだりして過ごしています。自分で釣った魚を、自分でさばいて食べるのは格別です！



周りを気遣えて キラキラと輝く すてきな女性が目標！

ふくだ あやの
2020年入社 福田 彩乃 (23歳)

三原市立第三中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

キャビンアテンダントやウエディングプランナーなど華やかな仕事に憧れを持っていました。そういった職業の女性がキラキラと輝いている理由は何だろうと自分なりに考え、笑顔を絶やさず周りを気遣えるところがすてきなんだと発見。就職活動の際、地元を代表する企業である「八天堂」の担当者が「人づくりにも力を入れている」と言われていて、ここでなら人間的に成長できると思い入社を決めました。八天堂ビレッジ内にある飲食店

「八天堂カフェリエ」で勤務をしており、接客やメニュー開発、SNSの発信などに携わっています。特にお客様と直に接するホールでは、高齢者の方や小さなお子様連れなどに必要なサービスは何かを常に考えた接客を心掛けています。また、商品開発やSNS発信などに関われるのも楽しいです。これからお客様に一番近いポジションでブランドの魅力を発信しながら、まちの活性化にもつながるような仕事をしていきたいです。

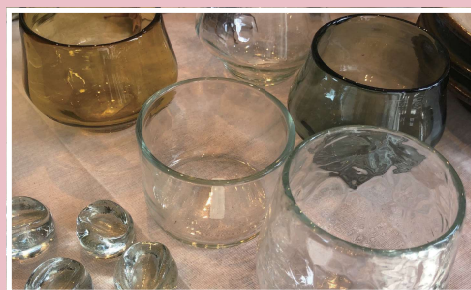
パン&和洋菓子のハイブリッド業態へ

食のソーシャルイノベーション企業

昭和8年三原市港町にて創業。食品の製造販売を軸に、体験型食のテーマパーク「八天堂ビレッジ」の運営や農福連携事業の推進などを行っている。新しい食文化を世界へ提案すると共に人づくりの会社として、人材創造企業を目指している。



休日の過ごし方



趣味で集めたお気に入りの食器 休日はお皿にもこだわって料理

趣味は食器集めや、インスタグラムでのインテリアや服のリサーチ。予定のない休日は凝った料理を作り、お皿選びや盛り付けを楽しんでいます。



このまちで暮らす 人のために、会社の顔として 親切丁寧な対応を

ひらおか ゆり
2020年入社 平岡 由梨 (28歳)

学校法人 福山暁の星女子中学校・福山暁の星女子高等学校 出身

総務課でお客様対応や書類管理などの事務仕事を担当しています。会社の1階がショールームになっていて、来店されたお客様に直接ご説明をすることもあれば、新築やリフォームの相談を電話で受け付けることもあります。特に電話対応は、顔が見えないからこそその誠実さが大切。はじめにお客様と会社がつながる大事な業務なので、「この会社をお願いしたい」と感じていただけるように丁寧な対応を心掛けています。そして、営業担当

者にお客様情報を引き継ぐ際には、漏れがないよう伝えることにも気を配っています。以前、お客様アンケートで「親身になって対応してくれました」という声をいただいたことがあり、とても励みになりました。今後は、地域に少しでも貢献していくことが目標。仕事を通じて住みやすいまちづくりに関わる事と共に、今の自分があるのは周りで支えてくれる人たちのお陰だと心に留め、このまちで暮らす人たちに恩返しをしていきたいです。

総合建設業を軸に広い分野で事業展開

グループ企業ならではの総合力が強い

グループ各社の経営管理を行う(株)HGCホールディングスを母体に、住宅・リフォーム事業の(株)嵩心/タカシン・ホーム、建設事業の関西住建(株)、サッシ・エクステリア事業の原建具工場(株)、飲食事業のタカシン・コラボ(株)、不動産事業の(株)マコトエステートの6社で構成する。



休日の過ごし方



パン屋巡りや自宅で映画鑑賞 テークアウトで新たな楽しみ

パン屋巡り、家で映画鑑賞をしたりしています。以前は旅行や外食もしていましたが、コロナ禍でテークアウトを楽しむようになりました。

株式会社 八天堂

なりたい未来を叶えるのは自分次第！ 制度も活用しながら、理想の働き方を



広報ブランディング室 係長
ちば み
千葉 つゆ美 (32歳)
(2013年入社)

EC事業部 部長
よしだ ゆき
吉田 有希 (31歳)
(2016年入社)

ライフステージに合わせて その時々自分の能力を最大限に生かす

食品メーカー「八天堂」は、業務内容のみならず人づくりに力を入れていることで就職先として学生たちに人気だ。多彩な働き方ができ、年次に関係なく挑戦できるという職場環境について話を聞いた。



チャレンジする
 気持ちが大
 失敗も糧に
 して
 キャリアを構築

——はじめに、お二人の入社までの経緯や、会社に入ってから印象に残っているエピソードを教えてください。

吉田: 東京農業大学大学院に通っていた当時は、研究職に就きたいと思っていました。ある時、新宿で販売していた八天堂のパンを買って食べたのですが、そのおいしさに衝撃を受け

て。会社への興味が湧いて就職説明会に参加したところ、若いうちからいろいろなことに挑戦させてくれる社風なんだということを知り、それで、入社試験を受けることに決めました。

千葉: 私は食品関係の会社を志望していて、広島でよく知られている八天堂に入りたいと思っていました。説明会では男女それぞれの先輩社員が普段の仕事内容について話をしてくださったのですが、その輝いている姿に憧れを持ちました。入社当初は製造部で、それから総務部やカフェリエのショップスタッフなど、さまざまな部署を経験させてもらいました。

吉田: 私も入社当初、製造部にいました。今でも忘れられないのが、入社1年目で「工場のサブリーダーをやってみないか」と声をかけていただいたこと。リーダーが不在の時に、計画通りに工場が稼働するよう指示を出す役割ですが、これが想像していた以上に大変で……。自分の不甲斐なさに、当然ですが、まだリーダーの器ではないんだと痛感しました。けれど、当時「やってみないか」と声をかけてくれた上司が、「やってみたいですって言える姿勢が大事な

だよ。これからも頼むよ!」って言うくださって。入社前に感じていた、社員のチャレンジを大切にする社風はイメージ通りだったとうれしく思いました。

千葉: 自分では失敗だと感じたとしても、そこから得られるものってありますよね。総務部にいた頃、採用の仕事を担当することがあって会社説明会に行ったんです。当時の上司の同行だったので、指示されたことをやればいかなど軽い気持ちで構えていたのですが、上司が急遽来られなくなり、私に任されたんです。それで「今日の説明会にはどんな学生さんが来るのか」など、いろいろ把握できておらず……。自分ごととして仕事をしていなかったと、深く反省しました。そこから目配り気配りを心掛け、自分が関わる仕事は全て自分主体で動けるように、細かいところまで把握できるよう気を付けています。

吉田: それがきっかけで仕事への向き合い方が変わられたんですね。今、広報ブランディング室から積極的に情報を発信していただいているのも、そういった千葉さんの姿勢があってこそなんです。

千葉: あの時の経験が大きな糧になっているなとは感じています。

多様な社員がいてこそ
 会社はもっと面白くなる

——お二人とも女性として、プライベートを含め、これからどんなキャリアを歩んでいきたいと考えていますか？

千葉: 吉田さんは女性社員として、八天堂での

キャリアの先頭を歩まれている存在。目標としてきた先輩社員はいますか？

吉田: 子育てをされながらキャリアアップして部長になられた先輩がいて、すてきだなと思ってきました。結婚しても、子どもを産んでも、私もバリバリ仕事をしていきたいと思っています。

千葉: ご自身のキャリアについて、何か考えが変わったタイミングやきっかけとなった出来事はありますか？

吉田: EC事業部に移った頃、アプリの開発を提案したんです。私自身、八天堂のファンとして入社したので、どうやったらこの会社の魅力がもっと伝わるかを考えて。それで、商品の情報発信や買ひ物ができるアプリがあったらいいな。コロナ禍でのお取り寄せ需要も相まってダウンロード数は順調に伸び、事業のひとつとして育てることができました。あとは、豪雨災害が発生した時ですね……。あの時はお中元シーズンの繁忙期と重なっていたのですが、断水で工場の稼働がストップしてしまいトラブル続きでした。事業部を任されている立場として、「こういう緊急時こそ自分たちの真価が問われている」と自分に言い聞かせ、チームの皆でなんとかピンチを切り抜けました。そういった出来事が、もっとこの会社を成長させるためにリーダーとして引っ張っていきたい、という思いにつながっているかもしれません。千葉さんはお子さんがいらっしゃるんですよね。仕事との両立は大変ではないですか？

千葉: 2020年に産休育休を取得しました。大変ではありましたが、復職の際は有給休暇を使いながら慣らし保育に預けたりして、少しずつ通常の勤務体制に戻し、短時間勤務で働いています。保育園は八天堂ビレッジ内にある「りんくう保育園」を利用しているので、送迎がすごく便利です。

吉田: 広報ブランディング室は八天堂ビレッジ



にありますもんね！育児と仕事との両立で言えば、EC事業部ではリモートワーク化が進んで関東からの遠隔で働いている社員さんもいるんですよ。家庭や子育てとのバランスが取れて、とても働きやすいみたいです。

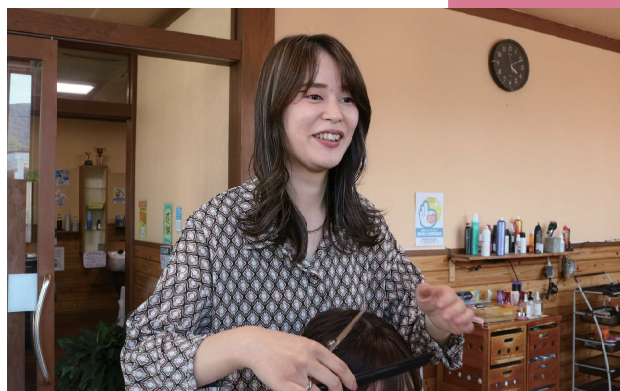
千葉: 社長自身「仕事のアイデアが浮かぶのであれば、働く場所はどこでもいい」と言われていますもんね。パートナーの転勤などで退職せざるを得ないということもなく、自分の意志でキャリアを継続できるのっていいと思います。

吉田: 正社員登用制度もいいですよね。やる気と能力さえあれば、パートから正社員になれる登用制度。実際EC事業部にいたパート社員さんは、デザイン能力に長けていて、今は正社員としてクリエイティブチームの責任者を務められています。

千葉: 頑張り次第で理想の働き方って叶えられるんですね。

吉田: 結婚していてもしていなくても、子どもがいなくても、性別に関係なく、誰にでも等しく挑戦できるチャンスがあるのが八天堂のいいところ。多様なメンバーがさまざまな意見を出し合って切磋琢磨していくことで、もっともっと面白い会社になっていきたいですね。



個性に合わせた
スタイルを提案
美容師として成長中2021年入社 ^{しんたく しほ}新宅 詩歩(29歳)

福山市立中央中学校・私立岡山龍谷高等学校 出身

私は福山の出身で、三原出身の夫と結婚したのを機に、こちらで暮らすようになりました。それまでも美容師として働いていたこともあり、同じ仕事を続けたいと思い「Palet's」に入社。理容と美容、それぞれの専門スタッフが在籍し、互いの技術を学べる場所がいいなと感じています。私は美容部門で女性のお客様を担当していますが、最近は女性でも刈り上げやツブブロックなど、ハンサムスタイルを好まれる人も。お客様の希望と個性

に合わせたスタイルに仕上げ、心から満足していただけた時は本当にうれしいです。スタッフは若い子が多く、新しいスタイルや流行を教えてもらったり、やる気に満ちた姿勢に刺激を受けたりしながら切磋琢磨しています。三原に移住してまだ1年ほどですが、海も山もあつてのんびりした雰囲気がお気に入り。これからも技術をより高めながら、お客様から「あなたに任せると安心」と言っていただけるような美容師を目指します！

地元で親しまれる創業30年以上の店

理容・美容のスペシャリストが在籍

レディース(美容)とメンズ(理容)のセパレートが特徴的な美容室。広々とした座席でカットやカラーのほか、イメージチェンジなどの相談ができる。キッズスペース完備で子育て世代にも評判。メーカーから入手する最先端の技術やスタイルを提供している。



休日の過ごし方

新しく見つけたお店や
自然豊かなスポットにお出掛け

新しいお店でランチを楽しんだり、季節が感じられるような場所に出掛けたりといろいろ。休日の出来事のお客様との会話の糸口になっています。

自分の選んだ道に
自信を持って
選ばれる大工に2022年入社 ^{ささき かよ}佐々木 加代(19歳)

広島市立二葉中学校・私立広島桜が丘高等学校 出身

子どもの頃から体を動かすことが大好きだったのですが、中学3年生の時に腰を痛め、中学・高校と整体に通いながら運動を続けてきました。スポーツに思い切り打ち込めない人の支えになればとスポーツインストラクターを志していましたが、コロナ禍でスポーツ業界の仕事が減少するのを目の当たりにし目標を変更。幼い頃、カッコいいと感じていた大工さんの働く姿が心に浮かび、平畑建設に入社しました。今は先輩のサポートが主

な仕事ですが、いつかお客様に「大工さんがあなたで良かった」と言ってもらえる、高い技術を持つ職人になりたいです。そのためには、お客様の要望にすぐに応えられるような知識と技術が必要。今後は、働きながら2年間訓練学校に通わせてもらう予定です。時に何かを諦めなければいけないこともあるかもしれない。けれど、自分が選択したその先には新しい道が待っています。自分の選んだ道に自信を持って進んでほしいです。

地域の暮らしを丸ごとサポート

性別年代問わず気持ち良く働ける環境

建築、土木、不動産と、地域の暮らしの困りごとをトータルでサポート。住宅や学校、店舗、工場、寺院などさまざまな建物の設計施工を手掛けている。アットホームな雰囲気で社員同士が助け合える風土があり、成長の機会も多数。2021年度ユースエール企業に認定。



休日の過ごし方

サイクリングでリフレッシュ
和太鼓チームで演奏活動も

会社の人とゴルフに行ったり、地元の和太鼓チームで演奏活動などを行っています。最近のお気に入りサイクリング。道を覚えるのにも役立ちます。



体力には自信あり！ お客様に安心と 笑顔届けたい

2011年入社 ^{なかおか まさとし} 中岡 将聡 (34歳)

三原市立本郷中学校・広島県立尾道商業高等学校 出身

高校卒業後はスポーツの専門学校へ。ソフトボール、軟式野球、硬式野球を続ける中で、プロ野球選手に憧れを抱いていました。夢は叶いませんでした。が、ひとつのことをやり続ける力は身に付いたと感じています。就職は地元でしたいと考え、名前が知られ、経営がしっかりしている広島ガス三原販売へ入社。LPガスの配送を担当し、野球で培った体力を発揮できています。大好きな三原で働けるのは大きな喜びです。配送先のお客様と言

葉を交わしたり、一人暮らしの方などを見守ったりする役割も少しは果たしているのかなと思うと、責任とやりがいを感じます。ガスの使用量が特に増える冬場は配送も多くなるので、いつも笑顔と安心を届けられるように体調管理には気を付けています。プライベートではソフトボールをしている息子の成長が何よりの楽しみ。ガス資格の取得だけでなく幅広い分野での資格取得を目指し、会社も地域も家族も支える存在になりたいです。

ガス供給事業で地域社会に貢献

免許取得支援制度でステップアップも

LPガスや住設機器の販売、リフォームを通じ、顧客のニーズに応えながら快適な生活環境を提案。地域社会に密接した事業を展開している。ガス関連に加え、仕事で必要な免許の取得支援制度も充実。幅広い知識と教養を身に付け、成長できる職場環境が整っている。



休日の過ごし方



ソフトボールチームの コーチとして、練習や試合に励む

息子が所属しているソフトボールチームでコーチをしており、休日は練習や試合に励んでいます。子どもたちの成長に元気をもらっています！



地元・三原で モノづくりに携わる ためにヒロヨシへ

2013年入社 ^{すなおか ともき} 砂岡 知樹 (42歳)

三原市立第二中学校・広島県立三原東高等学校 出身

大学では建設学科に在籍。その学びを生かし、建設コンサルタント会社に就職しました。設計や測量を通し、大好きな建築の世界でやりがいを感じる日々。一方で、自分自身の手で完成まで手掛けられるモノづくりに関わりたいという思いが膨らんでいきました。地元・三原にある会社で働きたいとも考えていたため、家具製造会社のヒロヨシに転職。工場が新しく、きれいな環境で働けることもうれしかったです。船舶用の家具づくりを

行っており、ソファやいすなどのウレタン貼りを担当。座面に膨らみを持たせるようにウレタンを貼り、座り心地の良さを追求しています。船の中に設える製品なので、実際に使われているところを直接見ることはなかなかありませんが、旅客船に乗る旅行客や、作業船で働く人たちに気持ち良く使っていただけているといいなと思います。いつか、世にまだないような、新しく画期的な製品開発を手掛けることが目標です。

船舶用家具、文具、OA機器の

三本柱で事業展開

船舶用家具やオリジナル家具の開発および製造販売、幅広い品ぞろえの文具店舗、OA機器をはじめオフィスをまるごとコーディネートする営業部の三本柱で事業を展開。船舶用家具製作は高い定評があり、これまで培った技術とノウハウで新しいモノづくりを目指している。



休日の過ごし方



ミカン畑で高齢の両親を手助け 自然や音楽に癒やされる休日

両親が高齢のため、実家のミカン畑で草刈りや収穫の手伝いをしています。自然に癒やされながら、自宅で音楽鑑賞などを楽しんでいます。

STORY 41

理容業

BLUET Barber Shop

ブルートバーバーショップ

三原市宮浦3-31-32
☎0848-38-2382
🌐https://bluet.info



スタイリスト目指し 奮闘中! いつか 自分の店を持ちたい

こ だ ら じ ゅ ン べ い
2019年入社 小寺 純平(22歳)

早島町立早島中学校・岡山県立興陽高等学校 出身

実家が理髪店を営んでいて、理容師として働く祖父、父、母の背中を間近で見してきました。お客様が希望される髪型に整えることはもちろん、おしゃべりに花を咲かせたり、たまに常連さんと一緒に遊びに出掛けたりする姿を見て、楽しく働けるっていいなと実感。近所の人たちに親しまれている様子も理想的だと思っています。高校卒業後は興味のあった英語を身に付けたくて、オーストラリアへ1年間の語学留学。その後は父の紹介で、系

列店の「Palet's」でアシスタントとして経験を積んでいます。まだスタイリングを手掛けることはできませんが、シャンプーや顔そりでお客様に喜んでいただけるよう修行中です。また、留学で学んだ英語力を生かし、外国人のお客様対応も進んでやっていきたいと考えています。いずれは地元の岡山で、実家の理髪店のような、お客様との距離が近い店を持ちたいです。理美容に興味のある学生さんがいたら、ぜひ一緒に働きましょう!

“男を磨く場所”がコンセプト

豊富なメニューでメンズヘアに特化

バーバースタイルを中心とした多彩なメンズヘアに対応。“男を磨く場所”をコンセプトに、メンズに特化したサービスを提供する。ヘアカットに加え、シェービング、育毛ケア、フェイシャルケア、ヘッドスパなどのメニューを展開。クラシックで上質な空間も評判。



休日の過ごし方



友人と気ままにショッピング お客様とファッション談議も

昔から洋服が大好きで、広島市内や岡山市内へ友達とショッピングに出掛けています。お客様とファッションの話題で盛り上がることも多いです。

STORY 42

製造業

株式会社古川製作所

FURUKAWA SEISAKUSHO

三原市沼田西町小原200-65
☎0848-86-2100
🌐https://www.furukawa-mfg.co.jp/



はじめてから最後まで 手掛ける楽しさ 頼りにされる人材に

まつ お こうせい
2022年入社 松尾 晃成(18歳)

三原市立大和中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

子どもの頃の憧れは、義肢装具士や家具職人。ものづくりの世界が好きで、広島県立総合技術高等学校に進学しました。工業についての基礎知識を一通り学び、地元ではよく知られる古川製作所に就職。祖父から「歴史がある大きな会社で安心」と声をかけてもらえたのも、就職先選びの決め手になりました。これまでの学びが生かせ、さらに部分的にでなく、はじめてから最後まで製品づくりに携われるところにやりがいを感じています。ま

だ入社したばかりなので、普段から気になることはメモを取るよう心掛けています。担当した機械が、教えてもらった通りに動くとはっとしますね。将来的にはクレーン操作の資格も取得したいです。覚えなれないといけないことはたくさんですが、早く仕事に慣れ、もっと頼りにされる存在になりたいです。後輩の皆さんには今のうちにできるだけいろいろな体験をして、たくさんの選択肢の中から自分に合った進路を選んでほしいと思います。

パッケージで食の安心安全を守る

包装機械のリーディングカンパニー

真空包装機や自動袋詰めシール機など、自動化機械の設計・製造・販売を一貫して行っている機械メーカー。スーパーで売られている肉、魚、野菜といったパッケージに活用され、医療関連品、工業製品などの各種包装機器も製造。多様な包装ニーズに応えている。



休日の過ごし方



仲良く支え合う同期の存在 楽しい時間を過ごし絆がアップ

10名いる同期とはとても仲が良く、仕事の相談をしたり、一緒に遊びに行ったりしています。休日はお出掛けして外食するのが楽しみです。

STORY 43

訪問看護事業

訪問看護ステーションAioi 株式会社徳寿

HOME NURSING STATION Aioi

三原市皆実1-13-17
☎0848-36-5392
http://tokujyu-aioi.jp
(近日公開予定)



誰もが自分らしく 生きられるような 新しい看護を地域へ

2022年入社 ^{にしはら こうへい} 西原 康平(36歳)

三原市立第五中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

これまで広島市内の病院や、尾道市内にある医療機関の地域救命救急センターなど、複数の病院で勤務してきました。夜間に具合が悪くなって病院を訪れる患者さんを多く見てきたことから、「自宅で安心してケアできるシステムがあればいいのにな」と考えるようになり、同じ志を持つ看護師仲間と2022年4月に「Aioi」をスタートしました。持病があるけど病院へ通うのが難しい方や、終末医療を自宅で受けたい方のサポートを行ってい

ます。強く心に刻まれているのは、若くして大病を患い「最期は家にいたい」と希望された患者さんに、医師や薬剤師と協力して穏やかな時間を過ごしていただけたこと。ご家族からも「看護師さんが身近にいてくれてとても心強かったです」というお言葉をいただきました。もちろん責任は大きいですが、患者さんとしっかり向き合い、その人らしい生き方を手助けできる、やりがいのある仕事だと感じています。

地域社会に新たな看護の形を提唱

在宅ケアを支える訪看ステーション

在宅療養での不安や悩みに寄り添う訪問看護ステーション。経験豊富な看護師が医師やケアマネージャーと連携し、介護保険、医療保険における訪問看護を実施。患者の心身サポートはもとより家族の負担も軽減。高齢化が進む地域社会で新しい看護の形を提案する。



休日の過ごし方



潮風さわやかな海浴いへ 大好きなバイクでお出掛け

バイクで出掛けたり買い物へ行ったりと気分転換。海浴いの道を走るのがお気に入り、病院勤務時代とはまた違った休日を味わっています。

STORY 44

社会福祉事業

社会福祉法人 松友福祉会

Matsutomo Social Welfare Corporation

三原市城町3-6-1
☎0848-63-1230
http://matsutomo.or.jp/



利用者の努力が 報われる瞬間に 立ち合える達成感

2022年入社 ^{げんだ みらい} 源田 美礼(21歳)

三原市立第二中学校・広島県立三原東高等学校 出身

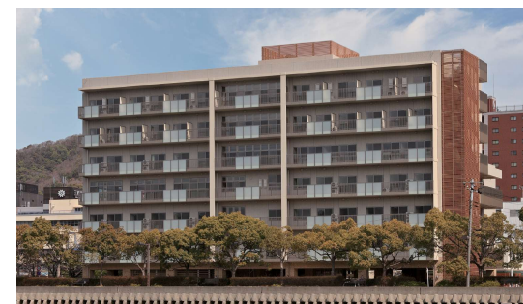
中学・高校時代の夢は医療従事者になることでした。高校卒業後、看護学校で学ぶ中でリハビリの仕事に興味を持ったのですが、新たに学校へ通うための学費や時間を作ることは難しく、一度その道を断念しました。無事看護の資格を取得した後もリハビリの仕事が気になっていたところ、福祉施設で働く機能訓練指導員という仕事があり、自分が取得した看護の資格でなれることを知り、「ぜひやってみたい」と思い松友福祉会に就職しました。機能

訓練指導員としての喜びは、根気よくリハビリを行えば、少しずつでも回復を感じてもらえること。ご利用者の努力が報われる瞬間には、何にも代えがたい達成感があります。またリハビリの際に見たご利用者の状況をご家族との面談時にお伝えすることで橋渡し役になれることもうれしく感じています。今後は海外のご利用者を受け入れる可能性もあるかと思うので円滑なコミュニケーションのために英語の勉強も始めていこうと思っています。

地域社会にきめ細やかで良質な

福祉サービスを提供

誠実、確実、堅実を基本方針とし、特別養護老人ホーム「くすのき・めぐみ苑」や「すなみ荘」、障害者支援施設「寿波苑」などの社会福祉施設を運営。介護員、看護師、栄養士、相談員、機能訓練指導員などのプロフェッショナルを幅広く採用している。

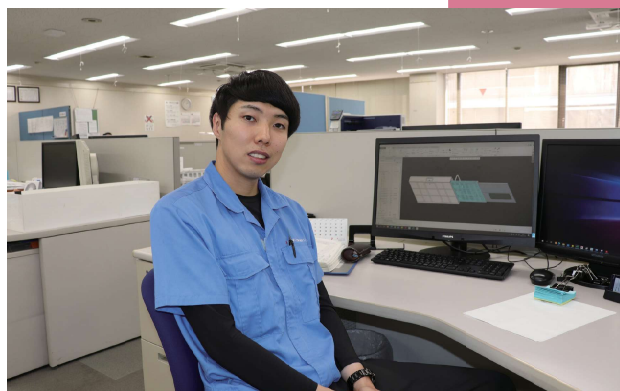


休日の過ごし方



趣味のお菓子作りを楽しみ 家族や友人にプレゼント

お菓子作りが好きで、よく作るのはチーズケーキやマフィン。最近ではカヌレやティラミスも作り、送った人に喜んでもらえることがとてもうれしいです。



人々の生活を守る 安心・安全な ホームドアを設計

2020年入社 ^{にっ た ゆう} 新田 優 (24歳)

竹原市立忠海中学校・広島県立忠海高等学校 出身

学生の頃はこれといった夢はありませんでしたが、子どもの頃から電車や航空機が好きで、ものづくりをする工作の授業が得意でした。その影響もあり、現在は駅のホームドアを設計する仕事に携わっています。図面や資料とにらめっこをしている時間が多く、分からないことばかりで大変ですが、自分の知らなかった新しい知識を得る楽しさもあり、毎日が充実しています。駅を利用する全ての人の安全を確保するために妥協のな

い製品づくりを目指す、やりがいのある仕事です。今後の目標は、発注元のお客様や世の中の要望にしっかりと応えることができる一人前の設計者になることです。お客様や同じ仕事に関わる人に「あなたと一緒に仕事ができ良かった」と言ってもらえるような社会人になりたいと思っています。皆さんもこれから多くのことを経験して、自分のやりたいことを探してみてください。

三菱重工業のグループ会社として

高い技術力で社会に貢献

飛行機に搭乗するための旅客搭乗橋や駅ホームからの転落を防ぐホームドアなど、生活に密接した公共性の高い製品を提供。確かな技術力と安心のアフターサービスで社会の発展に貢献している。2016年には国内初のドア位置・ドア数の異なる車両にマルチに対応するホームドアを開発。



休日の過ごし方



会社の野球チームに所属 練習や試合、ランニングで汗を流します

平日はデスクワークがメインのため、運動不足が気になる場所。そのため、休日は体を動かして健康と体力を維持できるようにしています。



人の役に立ちたい！ テレビ局の総務部で 管理業務に邁進

2019年入社 ^{くさ か だい ち} 日下 大地 (29歳)

尾道市立久保中学校・学校法人尾道学園 尾道高等学校 出身

小学生の頃に柔道を始め、将来は警察官になりたいと思っていましたが、ケガが続いたため高校の途中で柔道を辞めて、警察官になることも諦めました。大学は興味のある法律の分野へ進み、卒業後は営業マンに。26歳の時に転職して、三原テレビ放送に入社。現在は総務部に所属し、顧客管理や社内管理の業務に携わっています。来社されたお客様の対応や契約書類の処理、他部署の方が仕事をしやすい環境を作るための設備・

備品の管理など、縁の下の力持的な仕事です。学生時代から人の役に立てる仕事に就きたいと思っていたので、自分が関わった仕事に「ありがとう」と声をかけていただけることがやりがいになっています。学生時代の友人や思い出はとても大切なもの。勉強や部活はもちろん、いろいろな行事に積極的に参加して1つでも多くの思い出を作ってください。社会人になって辛いことがあった時、きっと自身の励みや支えになります。

1983年設立！三原・世羅に根付く

あたたかいケーブルテレビ局

三原・世羅エリアでテレビとインターネットサービスを提供し、「エムキャット」の愛称で親しまれているケーブルテレビ局。残業時間を削減できるよう業務の見直しを行い、有給消化も積極的に行うことで、2020年9月に『働き方改革実践企業』に認定。

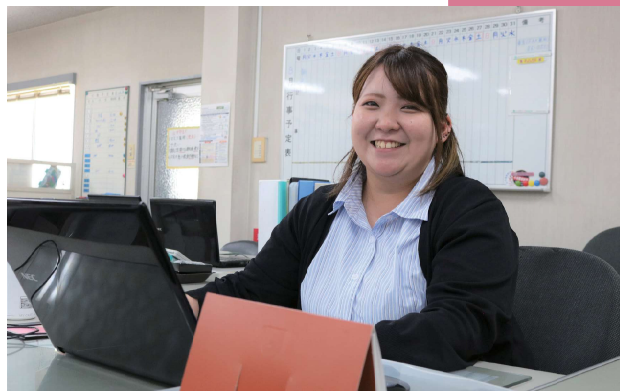


休日の過ごし方



景色の良い場所へ家族でお出掛け 心身ともにリフレッシュ！

家族でショッピングやイベントに出掛けています。世羅高原農場のチューリップ祭り、須波海岸など景色が良い場所がお気に入りです。



全てが勉強！ 新しい環境で 理想の自分を叶えたい

にしうら かえで
2022年入社 西浦 楓(28歳)

三原市立第三中学校 出身

幼い頃目にしていて、造船に携わる父の姿。溶接の仕事をしていたので、手にはいくつもの傷があり、それが“お父さんの手”と、幼心にかっこいいと思っていたのを覚えています。学校を出たらものづくりに関わる仕事をしたいと思っていましたが、早くに子どもに恵まれてからは必死で働く日々。三原市役所の臨時職員をしていた頃、母子サポートセンターのスタッフさんが相談に乗ってくださり、保道建設を紹介していただきました。今は憧れ

ていたものづくりの世界で仕事をするのができ、とても充実しています。注文書や請求書など、現場監督さんたちからお願いされる事務書類の作成を担当。業界の専門用語など分からないことも多いですが、「知らないからこそ吸収できる!」と、勉強を重ねつつ日々の仕事に取り組んでいます。プライベートでは子育てが少しずつ楽になってきたので、趣味も仕事も全力で楽しんでいきたいです。資格取得にも挑戦したいと考えています。

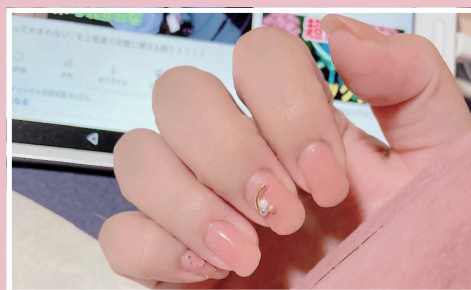
明治40年創業の地域に根付く建設会社

小企業ならではの小回りの良さが強み

「小さくても経営基盤の強い会社」を理念に、地域に密着した建設請負業を行っている。公共工事から個人邸宅まで多種多様な案件を手掛け、広島空港展望デッキや三原市立第一中学校校舎などの施工も担当。個人の事情に合わせた働きやすい環境にも注力している。



休日の過ごし方



セルフネイルでリフレッシュ 指先から気分転換

初心者ですがネイルにはまっていて、色々なカラーやデザインを試しています。普段パソコンを使うので可愛い指先になると気分が上がります!



日々の努力を しっかり重ねて 幸せな未来をつかむ

かくもと かずひる
2021年入社 角本 和弘(30歳)

三原市立本郷中学校・広島県立三原高等学校 出身

憧れていた都会での生活を経て、Uターン。小さい頃から食べていた豆腐などの製品でなじみのあったやまみが求人を出していたため、飛び込んでみることにしました。事業を拡大していて将来性のある会社だと感じたことが、入社を決めた大きな理由です。担当しているのは、小分け豆腐の製造ラインで行う機械の操作。製造の主役は機械なので、日々のメンテナンスを十二分に行うことが大切です。当初は取り扱い方がよく分かりませんで

したが、今ではちょっとした修理や部品交換をできるようになり、快適な製造現場を保つことにやりがいを見出しています。普段から「元気な声であいさつをする」など、毎日必ず1回はしようと思うことを決めて実践。そういった小さな行動が未来の自分をつくっていると思います。夢は全都道府県を旅する、幸せな家庭を築くこと。どちらも一生懸命仕事をしてこそ叶うものだと思うので、これからも日々の仕事にしっかり向き合っていきます。

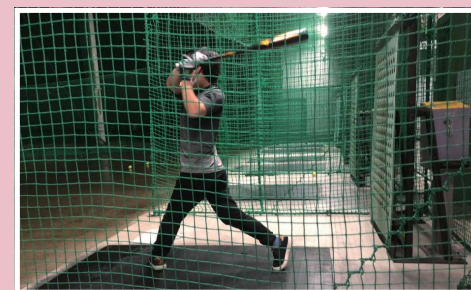
最新鋭のシステムと人財力を強みに

日本一の豆腐メーカー目指し躍進

豆腐などの大豆商品を中心に製品を製造販売。三方良しを理念に、社員・顧客・取引先に利益の出せる経営を行う。2012年に関西、2020年に関東へ工場を建設し、20年で売上を30倍に。最新鋭の機械導入と若手中心の行動力で、業界で唯一東証プライム上場を果たす。



休日の過ごし方



ストレス&運動不足を解消! バッティングセンターに夢中

社会人になってからバッティングセンターに通うようになりました。遠くに飛ばせた時は気持ちよく、ストレスと運動不足の解消になっています。



スタッフ同士の連携と 情報共有が大切 看護師として成長中

2013年入社 ^{きたむら}北村 ちづか(28歳)

三原市立第五中学校・広島県立総合技術高等学校 出身

看護師になることを決めたのは高校3年生の時。人と関わる仕事がしたいと思っていたのと、父が病気で入退院を繰り返していた時の看護師さんが親身になって対応してくれたのがきっかけでした。興生総合病院に入職してからは、急性期病棟に勤務。毎日忙しいですが、患者さんとのコミュニケーションは濃密で、状態を診ながら必要なケアを行い援助していく仕事はやりがいがあります。患者さんから「ありがとう」「大変じゃね」などと声

をかけてもらったり、目に見えて状態が回復していくのを感じられたりすると、とてもうれしいです。今までは新人看護師として日々の業務をこなすのに精一杯でしたが、少しずつ経験を重ね、周りを見て考えながら行動できるようになりました。最近はチームをまとめるリーダー業務も任せられ、スタッフ間の連携や情報共有の大切さを実感しています。後輩や新入職員の目標となれるように頑張っていきたいです。

多職種が連携したチーム医療で

安心&充実の医療・福祉を提供

地域の要望に応えるべく、高度の診断・治療機器を完備し、質の高い医療を提供する中核病院。「和顔愛語」の精神で温かみのある医療を目指す。年々医療が進化する中で、チーム医療は不可欠。多職種が連携し、個々の患者に最適な医療を提供できるよう努める。

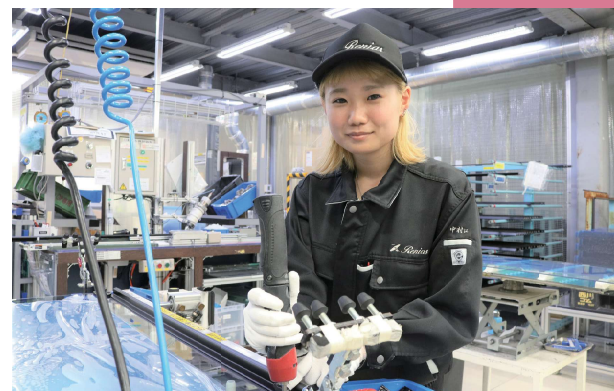


休日の過ごし方



趣味のバイクに夢中！ 友人と海沿いをツーリング

友人と一緒にバイクで出掛け、向島や笠岡の海沿いを走ったり、カフェに立ち寄りしています。病院内でも「バイク部」を作ろうかと計画中！



選んだ道を一生懸命 歩けば可能性が 見えてくるはず！

2020年入社 ^{なかむら えりか}中村 江梨果(21歳)

三原市立宮浦中学校・広島県立三原高等学校 出身

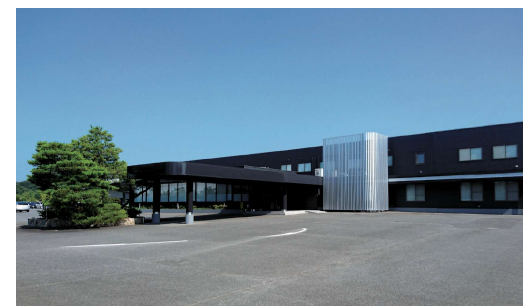
学生の頃は美容師になることを夢見ていましたが、家庭の事情もあり、高校卒業後に就職する道を選びました。当時は悔しい気持ちもありましたが、レニアスに入社して新たな目標を見つけることができています。社員の平均年齢が若く、30代で管理職になっている人も。先輩方からは学ぶことが多く、例えば相手に要望を伝える時に、お願いしたいことを的確に言いつつも、決して嫌な気持ちにさせないなど。そんな言動を見て、私も

同じように人として成長しながら、この会社で頑張っていきたいと心から思えるようになりました。仕事の担当は製品の組み立てで、最終工程ということもあり「次に手に取るのはお客様」と心に留めて作業と向き合っています。いずれは、いまの経験を生かして、製品を一から立ち上げる技術部門に入ることが目標。いろいろな選択肢があると思いますが、選んだ道を一生懸命に歩めば、必ず新しい扉が開くと信じています。

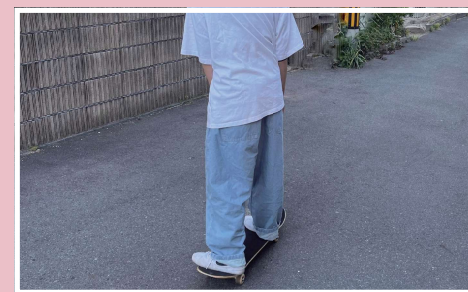
独自の製造・加工技術で

海外の売り上げも拡大

ポリカーボネート樹脂加工並びにアルミ加工に強みを持ち、特殊車両の窓で高いシェアを誇る成長企業。独自技術を用いた樹脂窓RENCRAFT®は建機やゴルフカート、バス、鉄道車両などに幅広く使用され、「唯一無二のぶっちぎり企業」として進化を続けている。



休日の過ごし方



叔父にももらったスケートボード 大技成功を目指して練習中

クリスマスに叔父がプレゼントしてくれた、スケートボードに熱中しています。オーリーという格好良いジャンプ技が繰り返せるよう特訓中です！